

# 札幌市総合交通計画改定検討委員会

## 第1回 市民まちづくり部会 資料

平成30年12月26日

## **【今回の議事】**

**議事 1 : 市民まちづくり部会の目的**

**議事 2 : 市民ワークショップの結果等を踏まえた視点について**

**議事 3 : 観光・環境に関する視点について**

# **議事 1 : 市民まちづくり部会の目的**

- ▶ 市民まちづくり部会では、**利用者の視点**（市民ワークショップの結果、観光・環境などのまちづくりの視点）から、**今後の重要な視点・市民の役割等**について議論

## 札幌市総合交通計画改定検討委員会

### 基本的考え方

### 交通戦略

・ 計画理念 ・ 基本方針 ・ 交通体系、交通モードの基本的考え方

・ 交通施策の体系化 ・ 評価指標 ・ 進行管理

《今後の重要な視点》

《市民の役割等》

### 交通部会

行政・交通事業者の視点

### 市民まちづくり部会

#### 利用者の視点

- ▶ 総合交通計画（目指す都市交通）の実現に向けては、行政、交通事業者に加え、交通の利用者である市民・企業がそれぞれの役割を認識し、連携して取組を推進していくことが重要

#### 観光・環境

- ▶ 特に、観光・環境の分野は、市民・企業の果たす役割が大きく、利用者（市民・企業）の視点から議論を行うことが重要

市民ワークショップ



## ■ 計画理念（第2回委員会資料より抜粋）

### <目指す都市交通の方向性（案）>

市民・企業、交通事業者、  
行政の連携

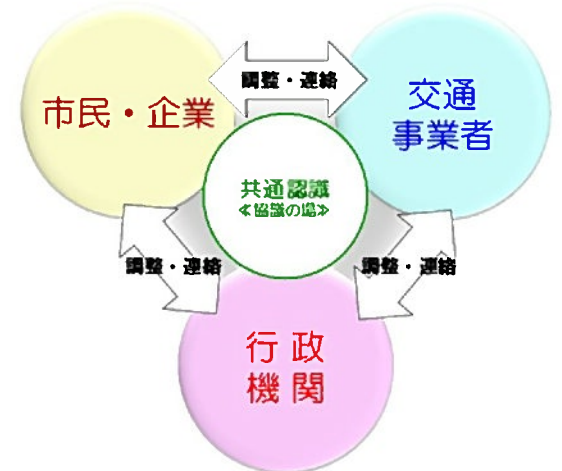
持続可能な交通ネットワークの確立や地域特性に応じた交通体系の構築を図るため、  
市民・企業、交通事業者、行政がそれぞれの役割を認識し、連携して取組を推進

## ■ 協働の取り組み（現計画より抜粋）

市民・企業 の役割	<p>交通行動の実際の主体となるのは、市民一人一人や個々の企業です。「公共交通の維持」や「地球温暖化対策」など、社会の一員として自らの行動が社会全体の利益につながるという高い意識をもって行動する必要があります。</p>
	<p>【役割】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>➢ 地球温暖化問題を意識して、公共交通など地球環境にやさしい交通手段を最大限選択します。</li><li>➢ 生活の足としての公共交通の社会意識を理解し、公共交通の利用促進や企業協力など、公私にわたり積極的に協力します。</li><li>➢ 企業は社会的責任として、従業員や顧客が「環境首都・札幌」の市民にふさわしい交通行動を実践できるよう積極的に協力します。</li></ul>

行政機関の 役割	市民の暮らし、地域経済、環境の保護という公益の実現に向け、 <b>長期的視点に立った計画を立案</b> し、市民や交通事業者と共有するとともに、市民・企業、交通事業者と連携して計画を実現することが必要です。
-------------	---

交通事業者 の役割	市民や企業に対して、「鉄道」「バス」「タクシー」などの交通サービスを提供する交通事業者は、札幌市総合交通計画の実現を担う重要な主役です。誰もが安心・快適に利用できる公共交通の実現を目指し、 <b>利便性の高い公共交通サービスの提供</b> を行う必要があります。
--------------	---



## ■ 基本方針（第2回委員会資料より抜粋）

### 現状と課題

社会経済面	交通面
<ul style="list-style-type: none"> <li>札幌には国内外から多数の観光客が来訪し、近年は外国人観光客が急増</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光客はJRや地下鉄などの公共交通を利用する割合が高く、レンタカーの割合も高い</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内の二酸化炭素排出量の増加、運輸部門の排出割合が比較的高い</li> <li>ハイブリットカーや電気自動車などのエコカーが急速に普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>都心部及び放射・環状の幹線道路の交差点周辺で局所的な交通混雑が発生</li> <li>冬期の道路交通のサービス低下</li> </ul>

### <基本方針（案）※>

区分	
活力	さっぽろの『都市観光』を支える
環境	交通システムの充実により『環境首都・札幌』の実現を支える

### 現交通戦略の効果検証

効果検証を踏まえ考慮すべき事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>観光スポットへのアクセス向上のため、幹線道路整備等による交通円滑化の取組を推進するとともに、観光需要に応じた利便性の高い交通サービスを提供</li> <li>近年増加する外国人観光客に向けて、案内表示の多言語化の推進など受入環境の更なる充実</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>次世代自動車の普及や交通円滑化など、環境負荷を低減させる取組を積極的に推進</li> <li>今後の低炭素社会の実現に向け、公共交通の利用促進を図るなどの市民意識の醸成</li> </ul>

※現在検討中

## **議事2：市民ワークショップの結果等を踏まえた視点について**

### **<構成>**

- 1. 市民ワークショップ開催結果**
- 2. 議論のポイント**
- 3. 交通に関する取組事例**

# 1. 市民ワークショップ開催結果

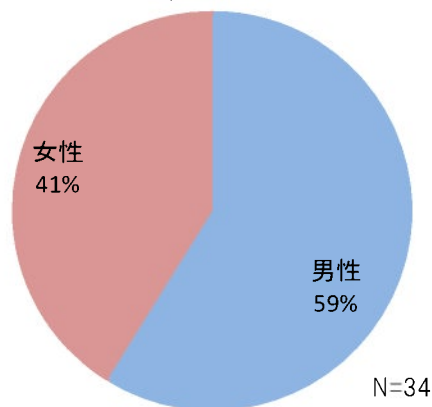
## ■ 開催概要

- 総合交通計画の見直しにあたり、市民が感じている課題や解決に向けたアイデア、市民・行政等の役割について市民意見の抽出を行うため、市民ワークショップを実施

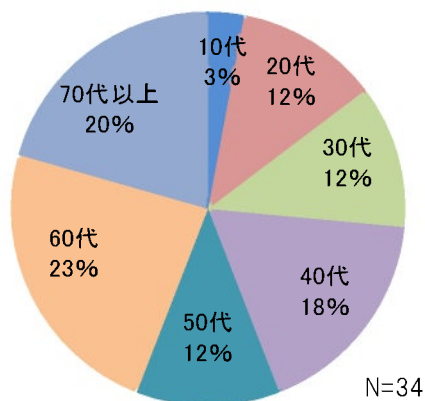
### 開催概要

日時	平成30年11月3日（土）10：00～16：00
場所	TKP札幌カンファレンスセンター カンファレンスルーム6B
参加者数	34名（市民委員3名を含む）
対象者の選出方法	無作為に抽出した18歳以上の市民3,000名に参加者募集案内を送付し、参加を希望された方の中から年齢、居住区のバランスを考慮し、参加者を選出
グループ分け	普段の移動状況から以下の属性にグループ分けを行い議論 (1) クルマで都心へ行く (2) クルマで郊外・拠点へ行く (3) 公共交通で都心へ行く (4) 公共交通で郊外・拠点へ行く

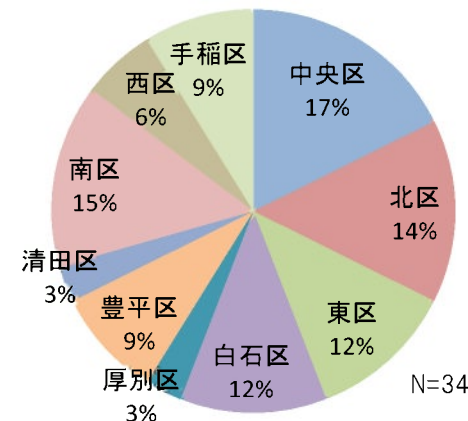
<性別>



<年齢>



<居住区>



## ■ 【主な意見】札幌の交通の現在<sup>いま</sup>

	札幌の交通のよいところ	札幌の交通の不便なところ
公共交通利用 (地下鉄、バスなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 車窓の景色を楽しみながら移動できる</li> <li>▶ 地下鉄・JRは定時性・速達性が高い</li> <li>▶ 市電は運行状況がリアルタイムに確認できて便利</li> <li>▶ 市電の警笛と走行音は風情が感じられてよい</li> <li>▶ バスは路線網が多く、大体のところに行ける</li> <li>▶ タクシーは、ベビーカーや車いすでも気兼ねなく使える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 始発が遅く、最終が早い</li> <li>▶ 環状の公共交通網が希薄で、都心を経由する必要がある</li> <li>▶ バリアフリー化が不十分</li> <li>▶ 地下鉄は使いやすい乗車券が不足（平日の1日乗車券など）</li> <li>▶ 高齢者や外国人にわかりやすい案内がされていない</li> <li>▶ バスは冬期に遅延し、雪の中待ち続けるといけない</li> <li>▶ バスは、乗継の仕方やルートがわからない</li> <li>▶ マタニティタクシーが少ない</li> </ul>
道路利用 (自動車、自転車、徒歩)	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 道路網が整備され、広くて走りやすい</li> <li>▶ 時間や経路選択が自由、寄り道できる</li> <li>▶ プライベート空間が確保でき、コミュニケーションが図りやすい</li> <li>▶ 荷物が多い時に便利</li> <li>▶ 自転車、徒歩は環境に優しく健康にもよい</li> <li>▶ 500m美術館は歩きながら楽しめてよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 渋滞で時間が読めない</li> <li>▶ 冬期は道幅が狭く、つるつる路面が危険</li> <li>▶ ガソリンが高い、環境負荷が大きい</li> <li>▶ 路上駐車・駐輪が多い(ルール・マナー)</li> <li>▶ いつまでも自分で運転できるわけではない</li> <li>▶ 自転車の通行空間が少ない、駐輪場の場所が分かりにくい</li> </ul>

## ■ 【主な意見】札幌の交通の明日（課題解決のアイデア）

	市民・企業ができること	行政・交通事業者に期待すること
公共交通利用 （地下鉄、バスなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 積極的に公共交通を利用するよう心掛け（家庭・企業による利用意識向上、子供とホリデーデーリング等に参加）</li> <li>➢ 商業施設による公共交通割引サービスの導入</li> <li>➢ 多少便数が少なくても、利用する側も理解が必要</li> <li>➢ バス待ち等の空き時間に、バス停の除雪や砂まきを実施</li> <li>➢ 郊外の商業施設を結ぶ均一料金バスの運行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 分かりやすく、利用しやすい料金体系の設定</li> <li>➢ 運行ダイヤの見直し（始発・最終の時刻等）</li> <li>➢ 観光客向けの1日パスや公共交通利用に応じたポイントの付与</li> <li>➢ バリアフリー化の推進</li> <li>➢ バスロケーションシステムの早期導入</li> <li>➢ バス待合環境向上（上屋整備）</li> <li>➢ バスの行先別に分かりやすく色分け、ナンバリング</li> <li>➢ 乗合タクシーの運行、マタニティタクシーの充実・PR</li> </ul>
道路利用 （自動車、自転車、徒歩）	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 車の利用を減らし、公共交通機関を利用</li> <li>➢ 渋滞予測で混雑の少ない経路を利用</li> <li>➢ 物流会社が連携し、共同荷捌きや一括納入を実施</li> <li>➢ 自転車の走行ルールを守る</li> <li>➢ 駐輪場整理など、ボランティア活動へのインセンティブ付与（飲食店の割引等）</li> <li>➢ 健康のためにも、バス停や地下鉄駅まで歩き、積極的に公共交通機関を使う</li> <li>➢ 交通マナーの教育、周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 右折レーンや時差信号（矢印信号）の増設</li> <li>➢ 駅周辺の駐輪場整備（最寄駅までは自動車、最寄駅から都心部は公共交通）</li> <li>➢ 駐輪場の整備・周知</li> <li>➢ 自転車の通行空間整備やルール・マナー啓発</li> <li>➢ 「移動手段の変更による環境負荷の低減」、「階段利用によるカロリー消費」などの情報を効果的に発信</li> </ul>

### ■ 議論のポイント

検討の視点	議論のポイント
○交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"><li>➤公共交通の利便性向上に関して考慮すべきこと（快適性、定時性、料金施策など）</li><li>➤道路環境の向上に関して考慮すべきこと（バリアフリー、自転車対策など）</li></ul>
○まちづくりとの連携	<ul style="list-style-type: none"><li>➤交通機能以外の交通の魅力・付加価値（コミュニケーション・にぎわい創出、健康増進など）</li></ul>
○市民・企業の役割	<ul style="list-style-type: none"><li>➤市民・企業が行動・活動する際に配慮が求められること（公共交通利用、自転車利用、雪対策など）</li><li>➤市民・企業の活動として、期待すること（道路の美化活動、エリアマネジメント活動など）</li></ul>

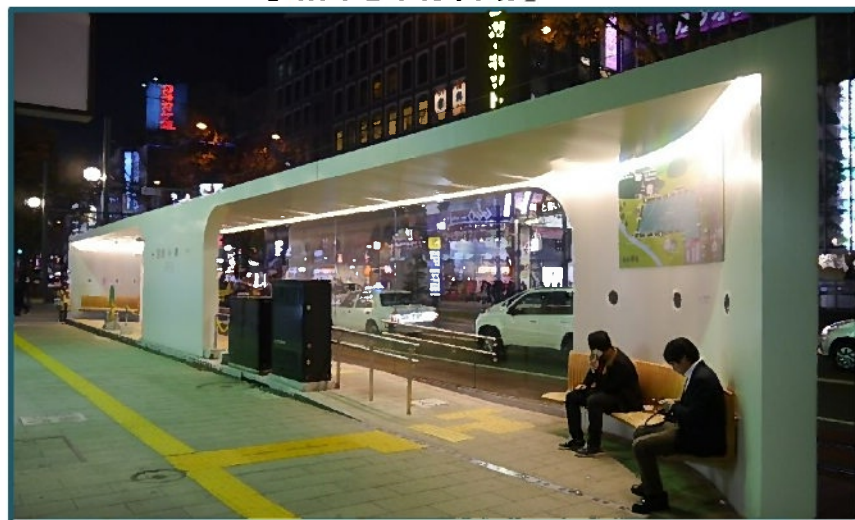


# 3. 交通に関する取組事例（交通の利便性向上）

## ■待合環境

- ・ 雨の日や冬期間も快適に過ごすことができる待合環境を整備

【路面電車停留場】



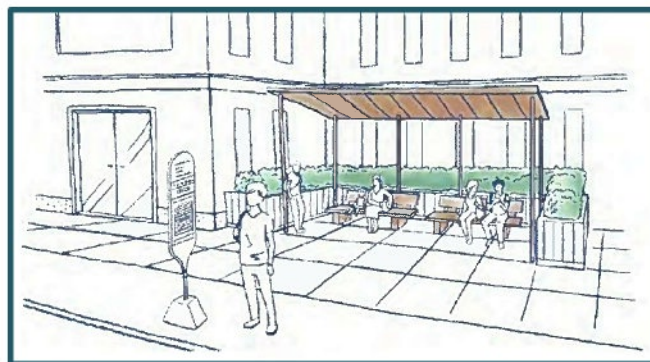
- ・ 路面電車ループ化の際に、サイドリザベーション方式により、歩道部を活用した停留場を新たに設置
- ・ 歩道と一体感を持たせたデザインとしており、木製ベンチを導線に配置し、乗降者はもちろん歩行者にも憩いの場を提供

【バス停上屋】



- ・ バス会社と広告会社が連携し、上屋に添架した広告の広告料収入を原資として、バス停上屋の設置、その後の維持管理を実施

【民間事業者による待合環境の整備を誘導】



- ・ 地下鉄駅周辺等において、民間事業者が開発を行う際、公共交通の待合環境を整備することにより、容積率の割増などを実施

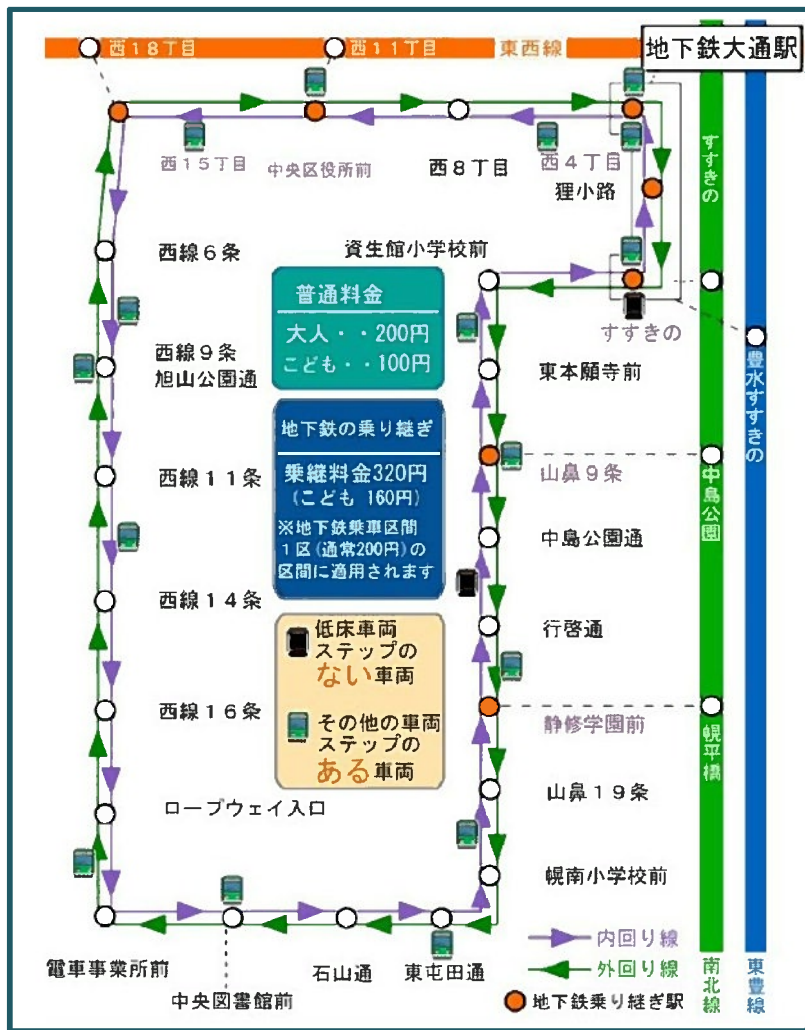


# 3. 交通に関する取組事例（交通の利便性向上）

## 札幌市電Navi、バスロケーションシステム

- ・路面電車の運行状況をリアルタイムで表示できる札幌市電Naviを導入済
- ・バスの接近情報や遅延状況をリアルタイムに提供するバスロケーションシステムを導入予定

【札幌市電Navi】



【バスロケーションシステムのイメージ】

バスが遅れている場合、遅れを反映した発車時刻及び遅れ時間が赤字で表示される

The screenshot shows the 'えきバスnavi' app interface for 'バス現在位置' (Bus Current Position). It lists bus stops from '札幌駅' (Sapporo Station) to '南6条西1丁目' (Nankai 6-chome West 1-chome). The current bus is at '北1条西7丁目' (Kita 1-chome West 7-chome) at 08:12, with a 5-minute delay. The departure time for the next stop is shown in red, indicating a delay.

バスの現在位置が表示され、2つ前の停留所を通過したことが分かる

指定した停留所（出発地）

# 3. 交通に関する取組事例（交通の利便性向上）

## ■料金施策の事例

- ・ 札幌市交通局では、地下鉄専用1日乗車券や市電専用1日乗車券（どサンこパス）等を販売
- ・ バス事業者では、都心内の一定区間を100円で利用できる100円バスや、1日乗りほーだいきっぷ等を販売

### 【地下鉄・路面電車の乗車券】

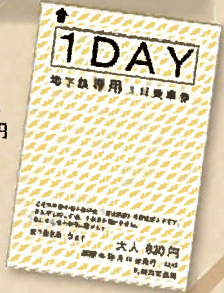
#### 地下鉄専用1日乗車券

地下鉄が1日乗り放題で  
お得な乗車券です。

**発売金額** 大人830円、  
こども420円

**購入場所**

地下鉄駅券売機、  
各定期券発売所など



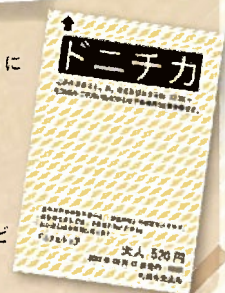
#### ドニチカキップ

土・日・祝日及び  
年末年始(12月29日から1月3日)に  
ご利用いただける  
地下鉄専用1日乗車券です。

**発売金額** 大人520円、  
こども260円

**購入場所**

地下鉄駅券売機、  
各定期券発売所など



#### どサンこパス

土・日・祝日及び年末年始(12月29日から1月3日)にご利用いただける市電(路面電車)専用1日乗車券です。どサンこパス1枚で大人1人とこども1人が1日乗り放題になります(大人1人分の料金でこども1人が無料で乗車可能)。

**発売金額** 360円  
※発売日当日のみ有効で前売りはしていません。

**購入場所**

市電車内、市電との乗継指定地下鉄駅窓口(大通、すすきの、中島公園、幌平橋、西18丁目、西11丁目、豊水すすきの)、大通定期券発売所



### 【バスの乗車券】

手軽で  
うれしい

#### 100円バス

一部区間の運賃を100円でご利用いただいています。普段なら「歩いて…」のような比較的小さい距離でも気軽にバスでGO！ご利用いただきやすい運賃設定で、好評をいただいています。

※現金でお支払の場合に限ります。 ※小人50円でご利用頂けます。  
※療育手帳・身体障害者手帳の提示で割引にはなりません。

#### 札幌都心部

JR札幌駅～サッポロファクトリー  
JR札幌駅～北1条西7丁目  
[5]大通西3丁目～JR札幌駅  
[31][37][53]大通西4丁目～北1条西7丁目  
[51][53]大通西4丁目～JR札幌駅

#### 江別市内

大塚駅南口～北翔大学前・札学院大前  
※国道12号線上の1区間です。文京台を經由しての利用は除きます。

#### 様似町内

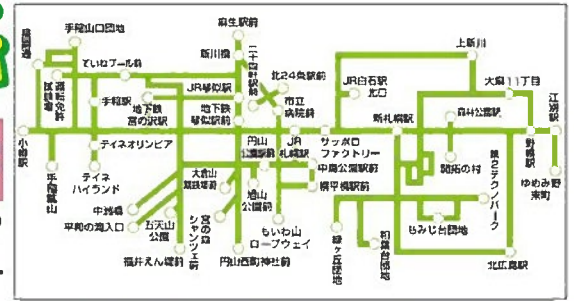
様似駅～様似営業所前

#### 札幌圏内ならおトクに乗り放題！

#### 1日乗りほーだいきっぷ

**発売金額**  
大人 800円  
こども 400円

ジェイアール北海道バスの札幌圏内路線が、ご利用日(1日)に限り何回でもご乗車いただけるきっぷです。宮の沢～小樽(片道600円)など、遠距離で使うととてもおトク。観光・レジャーにどうぞ！



次のバスはご乗車  
できません。

- 都市間高速バス(高速おたる号、高速あさひかわ号、流氷もんべつ号、ポテトライナー、高速えりも号、高速ひろおサント号)
- 催事等の臨時バス(新札幌駅～厚別競技場、JR白石駅～札幌ドーム 新札幌駅～札幌ドーム等)



# 3. 交通に関する取組事例（交通の利便性向上）

## ■自転車の都心部通行空間、駐輪場整備

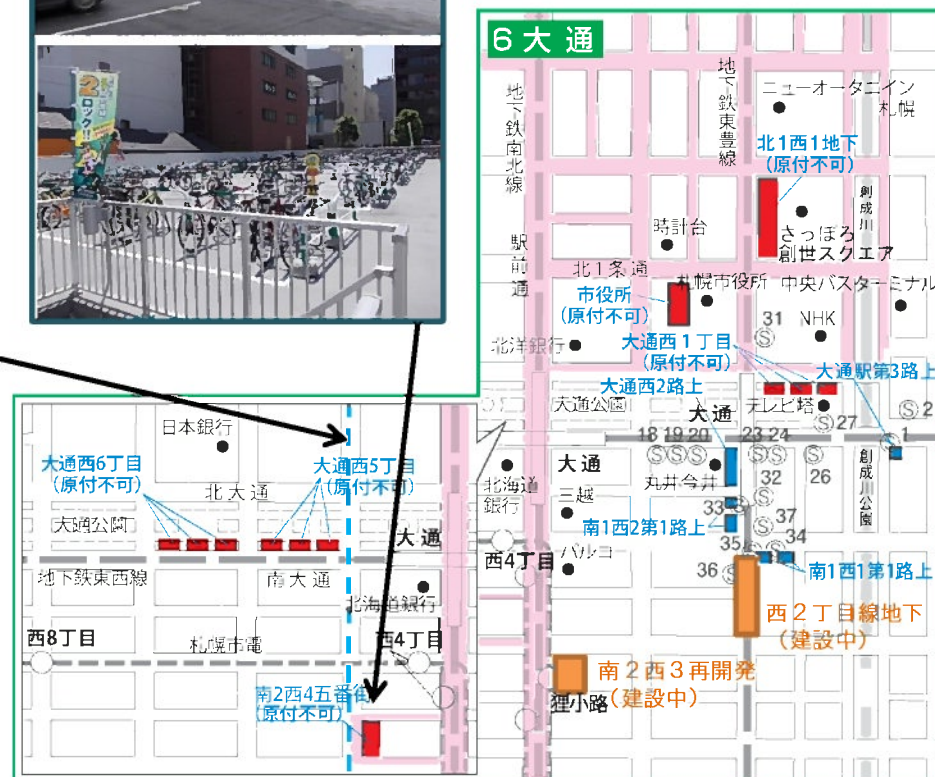
- ・ 自転車通行空間の明確化より、歩行者・自転車それぞれが安全・安心に利用できる通行空間を創出
- ・ 自転車等駐車場の整備や、ポロクルなどシェアサイクルの取組による総合的な駐輪対策の推進



【矢羽根型路面表示（市道西5丁目線）】



【シェアサイクル（ポロクル）】



【大通周辺の駐輪場】

## ■大通すわろうテラス

- ・地域の魅力を伝える情報発信やイベントとの連携を積極的に行い、「地域の賑わい創出」を図る目的で開設
- ・カフェや軽食販売、企業プロモーションなど様々な用途で利用
- ・収益の一部を周辺の清掃・美化活動などまちづくり活動に充当



- 実施主体：札幌大通まちづくり株式会社
- 実施場所：国道36号線札幌駅前通歩道部
- 実施期間：平成25年8月～



スイーツや...

カフェで一息



使い方は様々...



今日はどんなお店？

楽しい大通のまち歩き





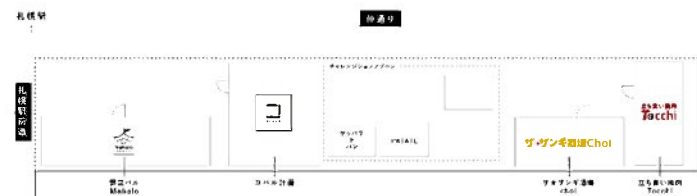
### 3. 交通に関する取組事例（まちづくりとの連携）

#### ■コバルドオリ CoBAR STREET

- ・メインストリートである札幌駅前通と交差する仲通りの魅力発信のため、地場の事業者や若手の起業家による飲食店のほか、都心部において店舗を構えていきたい事業者に向けたチャレンジショップを開設



- 実施主体：札幌駅前通まちづくり株式会社
- 実施場所：旧五番館西部跡地  
(中央区北4条西3丁目)
- 実施期間：2017年12月～



## ■東4丁目実証実験（創成東『まちのリビング』）

- ・ 地域の方々の居場所となるくつろぎの空間「まちのリビング」をつくり、地区の特性を活かした公共空間のあり方と街歩きが楽しくなるまちづくりを検討

～東4丁目線を中心とした空間活用の実証実験～ SAPPORO

### 創成東『まちのリビング』

10/11～14の4日間  
(木) (日)

東4丁目線に **くつろぎの空間** を作りま

創成東地区では、地域の皆さまと当地区のまちづくりについて意見交換の場を設けるなどしながら、地区のあり方を検討してきました。  
今回の実証実験では、いとなみの軸（東4丁目線）に地域の方々の居場所となるくつろぎの空間「まちのLiving（リビング＝居間）」をつくり、地区の特性を活かした公共空間のあり方と街歩きが楽しくなるまちづくりを検討します。ぜひ、お立ち寄りください。

**まちのリビング**  
屋外でくつろぎの時間をどうぞ。

**しばふベンチ**  
歩行空間を広げ、ベンチなどを設置することで思い、交流の場をつくりま。

**カフェスタンド**  
※11日（木）・13日（土）のみ  
地域のコーヒー店のコーヒーを試飲していただけます。

**まちの掲示板**  
まちの歴史や活動を紹介。まちのこと、もっと知ってみませんか。

**まちの情報コーナー**  
まちの歴史や町内会活動に関するパネルを展示します。

**ご意見募集コーナー**  
あなたが感じるまちの魅力って？これからどんなまちになってほしい？たくさんのご意見をお聞かせください。

※写真はイメージです

場所 サッポロファクトリー  
フロンティア館横スペース  
(中央区北1条東4丁目)

日時 10月11日（木）～14日（日）  
9:00～17:00

※気象状況等により、実証実験は予告なく中止・変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

- 実施主体：  
主催 札幌市  
協力 (一社) さっぽろ下町づくり社  
サッポロ不動産開発(株)  
NPO法人エコモビリティサッポロ  
東北連合町内会、東地区連合町内会  
(株)オレンジカンパニー
- 実施場所：サッポロファクトリー  
フロンティア館横スペース
- 実施期間：2018年10月11日～10月14日

### 3. 交通に関する取組事例（まちづくりとの連携）

19

#### ■さっぽろ健幸ポイントプロジェクト（実証調査）

- ・「公共交通+歩行」を中心としたライフスタイルへの転換を誘導し、歩行増進による健康長寿社会の実現を目指す目的で実施
- ・スマホアプリで計測された歩数などから、健幸ポイント（SAPICA交通ポイント）を貯める

本プロジェクトは国土交通省の実証調査として実施されます 【修正版】

# さっぽろ健幸ポイントプロジェクト

街を歩いて！チ・カ・ホを歩いて！  
地下鉄・バス・市電に乗って！  
健幸ポイント（SAPICA交通ポイント）を貯めよう！！

**参加費無料**

**200名限定**  
※応募多数の場合は抽選を行います

最大獲得ポイント  
**8,500ポイント**

ポイント付与対象期間  
**2018年12月～  
2019年2月**

申込先 



**SAPP  
RO**

参加条件（詳細は4ページ）：※本プロジェクトではiPhoneはご利用いただけません。

- ① 満20歳以上の札幌市在住の方
- ② スマートフォン（AndroidOSのみ対象）を日常的に利用している方
- ③ 11/16（金）・17（土）どちらかの参加者説明会にご参加いただける方 など

応募締切：11月5日（月）

#### ■運営等：

- 運営 スマートウェルネスシティ協議会  
（株）日建設計総合研究所・（株）つくば  
ウェルネスリサーチ・札幌市）
- 協力 （株）タニタヘルスリンク  
札幌市都心版データプラットフォーム  
活用コンソーシアム

#### ■実施期間：2018年12月～2019年2月



## ■公共交通の利用促進（交通環境学習）

- ・小学生の時から公共交通の重要性を認識し、積極的に使うという交通行動を身につけられるよう、教材を開発し、小学校において授業を実践

### 【教材「私たちの暮らしを支える公共交通」】

はじめに

1 公共交通ってなんだろう

2 札幌市の公共交通

わたしたちが普段、移動するときに使う乗り物には、どのようなものがあるでしょう。だれでも利用できる乗り物のことを公共交通と言います。札幌市には、おもしろい、地下鉄、バス、有軌電車、鉄道などの公共交通があり、いつでも、どこへでも行くことができます。公共交通は、わたしたちの暮らしにかかせないものです。みなさんは、どの公共交通にどのくらい乗ったことがありますか。

公共交通です。地下鉄、バス、有軌電車、鉄道の4種類の公共交通があるのは、札幌市のほかには、東京都・京都市・大阪市の3都市しかありません。札幌市は、日本の中でも移動しやすく、暮らしやすいまちといえることができます。みなさんは、公共交通とわたしたちの暮らしの関係を考えてみたことがありますか。札幌市が暮らしやすいといわれる理由を、この課の本を使って考えてみましょう。

公共交通とわたしたちの暮らしの関係を考えてみよう。





# 3. 交通に関する取組事例（市民・企業の役割）

## ■自転車押し歩きキャンペーン、市民による砂まき等

- ・ 歩行者の安全確保、自転車の安全意識の向上のため、自転車押し歩きキャンペーンや自転車交通安全教室を実施
- ・ 人通りの多い交差点を中心に砂箱を設置し、市民・企業・札幌市の協働で砂まき活動を推進

### 【自転車押し歩きキャンペーン】



- 都心部の駅前通にて、歩道を走行する自転車に対し「押し歩き」を呼びかけるキャンペーンを実施
- H24・25年度の社会実験において、自転車の押し歩きが歩行者の安全確保、自転車の安全意識の向上になることが確認されたため、札幌駅前通（国道36号）の大通から南4条の歩道区間を「自転車押し歩き地区」と位置付けH27より啓発活動を実施

### 【自転車交通安全教室】



- 市内の高等学校13校にて事故再現型の自転車交通安全教室（スケアードストレート）を実施

### 【市民による砂まき】



- 歩行者が安心して雪みちを歩けるよう、人通りの多い大きな交差点などのつるつる路面に砂まきを実施

### 3. 交通に関する取組事例（市民・企業の役割）

22

#### ■道路環境美化活動、歩道への花壇設置

- ・市民や地元企業などにより、道路の環境美化活動を実施

【道路環境美化活動（アダプト・プログラム）】



- ・市民や地元企業などが、一定区画の公共施設を養子（アダプト）とみなし、行政と覚書を締結のうえ環境美化活動を行い、行政はその活動用具の支援等を行う

【歩道への花壇設置】



- ・歩道の植樹ますに、ボランティアで、沿線に住む市民が担当花壇を決め整備

資料：札幌市、芸術の森フラワーロードに花を咲かせる会



# 3. 交通に関する取組事例（市民・企業の役割）

## ■荷さばきエリアマネジメント社会実験（平成28年度実施）

- ・ 札幌都心部に配送される荷物の一部を、既存ストックポイント（荷物の一時置き場）を活用し、共同配送する社会実験を実施
- ・ 共同配送の取組により、配送時間の減少による物流効率化や、路上荷さばき時間の減少による道路空間の価値向上への期待が確認された

安全で円滑な道路交通の確保のため、既存ストックポイントを活用した共同配送の実施

**実施した2つの共同配送パターン**

- ① 都心ストックポイントを活用した共同配送**  
民間運送事業者のストックポイントを活用し、道路上での荷さばき車両の削減を検討。
- ② 郊外の物流拠点（ハブ）を活用した共同配送**  
都心部に配送する荷物を、郊外のハブ（物流拠点）にとりまとめ後、都心部に配送し、都心部に流入する荷さばき車両の削減を検討。

**▼共同配送の全体イメージ（※SP：ストックポイントの略）**

**① 都心SPを活用した共同配送イメージ**

SP 実験エリアにおけるストックポイント

# 議事3：観光・環境に関する視点について

## <構成>

1. 観光に関する視点
2. 環境に関する視点
3. 議論のポイント

# 1. 観光に関する視点

(1) これまでの意見と検討の視点

(2) 札幌市観光まちづくりプラン

(3) 観光に関するデータ

(4) 最近の取組事例

## ■ 現交通戦略の効果検証より

- 観光スポットへのアクセス向上のため、幹線道路整備等による交通円滑化の取組を推進するとともに、観光需要に応じた利便性の高い交通サービスを提供
- 近年増加する外国人観光客に向けて、案内表示の多言語化の推進など受入環境の更なる充実

## ■ これまでの委員会での意見より

- 情報提供や表示などのサインは、統一的な表現があった方がよい
- 交通によって地域の魅力を伝えるようなしなげづくりも求められている
- 行政の他セクションとの連携が重要

## ■ 市民ワークショップでの意見より

- 観光客向けの交通機関の情報提供の充実
- 観光客向けの1日パスや公共交通利用に応じたポイントの付与
- バスロケーションシステムの早期導入
- 分かりやすく、利用しやすい料金体系の設定

検討の視点	議論のポイント
○受入サービス・おもてなしの向上	➤ 市民・企業の活動として、期待すること（おもてなしの向上策、交通施設の魅力発信など）
	➤ 情報提供において考慮すべきこと（多言語化の推進、ICT活用など）
○観光客の滞在・周遊・再訪の促進	➤ 観光スポットへのアクセスにおいて考慮すべきこと（交通結節機能強化、周遊バス、ICT活用など）
	➤ 観光資源としての交通の魅力

### ■ 観光まちづくりの目指す姿

#### 目標像 『産民学官が連携する観光まちづくりの実現』

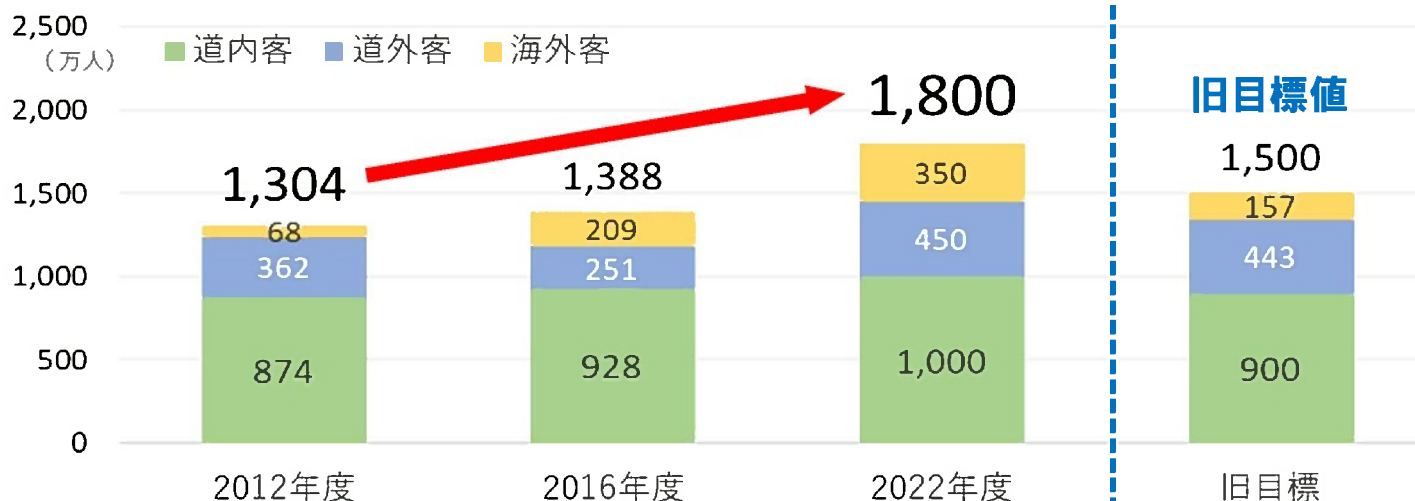
- (1) 地域の特性を生かした**魅力の創造**
- (2) 市民が都市観光を自ら楽しみ育てる**環境づくり**
- (3) 観光関連産業の持続的成長を支える**担い手づくり**

#### 目標像の実現に向けた取組の基本的な考え方

- (1) 札幌市民が、札幌の魅力を探し、知り、日常的に楽しむこと
- (2) **札幌市民・観光関連事業者等が、札幌の魅力を提供し、情報を発信**していくこと
- (3) 来訪者が札幌の魅力の情報に触れ、楽しむこと

#### 目標像の実現に向けた数値目標

##### ●年間来客数



### ■ 観光まちづくりの基本方針・施策の方向性

※交通に関連する取組を抜粋

#### 基本方針1 『札幌・北海道の魅力を生かした観光の創造』

##### 1-2 札幌や北海道独自の資源を生かした体験観光の育成、**周遊の促進**

- ・道内中核市などと連携しながら、道内の航空網・鉄道網・高速道路網などを活用し、札幌と道内各地をつなぐ周遊観光を促進します。

#### 基本方針2 『受入サービス・おもてなしの向上と着地型観光の促進』

##### 2-2 多様なニーズに対応した**受入環境整備**

- ・北海道新幹線の早期札幌延伸や創成川通の機能強化、新千歳空港・丘珠空港の受入機能の充実を図るとともに、都心部のまちづくりを進め、アクセス環境の充実を図ります。
- ・外国人観光客が安心して滞在できるような災害時の対応の強化を図ります。

##### 2-3 官民協働による、まち全体のおもてなしの向上

- ・「札幌おもてなし委員会」を中心に、まち全体のおもてなしのレベルアップするための取組を進めます。
- ・観光ボランティアや観光おもてなしタクシーについて、持続可能な取組となるよう、支援を行います。

##### 2-5 **ユニバーサルデザイン**の推進

- ・札幌オリンピック・パラリンピックを視野に入れた観光施設内のバリアフリー化の推進などに取り組みます。
- ・交通の要所、雪まつりなどのイベントや観光関連施設などにおける外国語対応の充実に取り組みます。



### ■ 観光まちづくりの基本方針・施策の方向性

※交通に関連する取組を抜粋

#### 基本方針3 『滞在・周遊・再訪を促進する情報提供の強化』

##### 3-3 公共交通の案内充実、周遊する仕組みの強化

- ・公共交通機関や地下街・地下歩行空間などの利用を促す情報を発信するとともに、民間ビルの建て替え更新等を通じて、地上部の回遊空間の充実を図りながら地下空間ネットワークと沿道ビルとの接続を促進することで、地上地下の重層的なネットワークを強化・拡充し、都心部での観光客の周遊を促進します。また、観光バスの受入環境整備について、官民連携により取り組みます。
- ・ICTを活用し、交通情報や観光スポットの情報を組み合わせ、札幌の来訪者が市内を周遊する仕組みを検討します。

#### 基本方針4 『未来を創造していくプロモーションの展開』

##### 4-2 国内外観光客の誘致活動の推進

- ・観光客の増加に大きな影響がある航空便の誘致に取り組むとともに、二次交通のアクセスの充実を図ります。

## ■札幌市の観光客と外国人宿泊者数の推移

- ・ H29（2017）年度に札幌を訪れた観光客は、過去最多の約1,527万人で、前年度の約1,388万人と比較すると約139万人（前年度比10%）の増加
- ・ H29（2017）年度の外国人宿泊数は約257万人で、過去最多を更新し、前年度209万人と比較すると、約48万人（前年度比22.8%）の増加
- ・ 中国、韓国、台湾、香港、タイの5つの国・地域で全体の82.1%を占めている

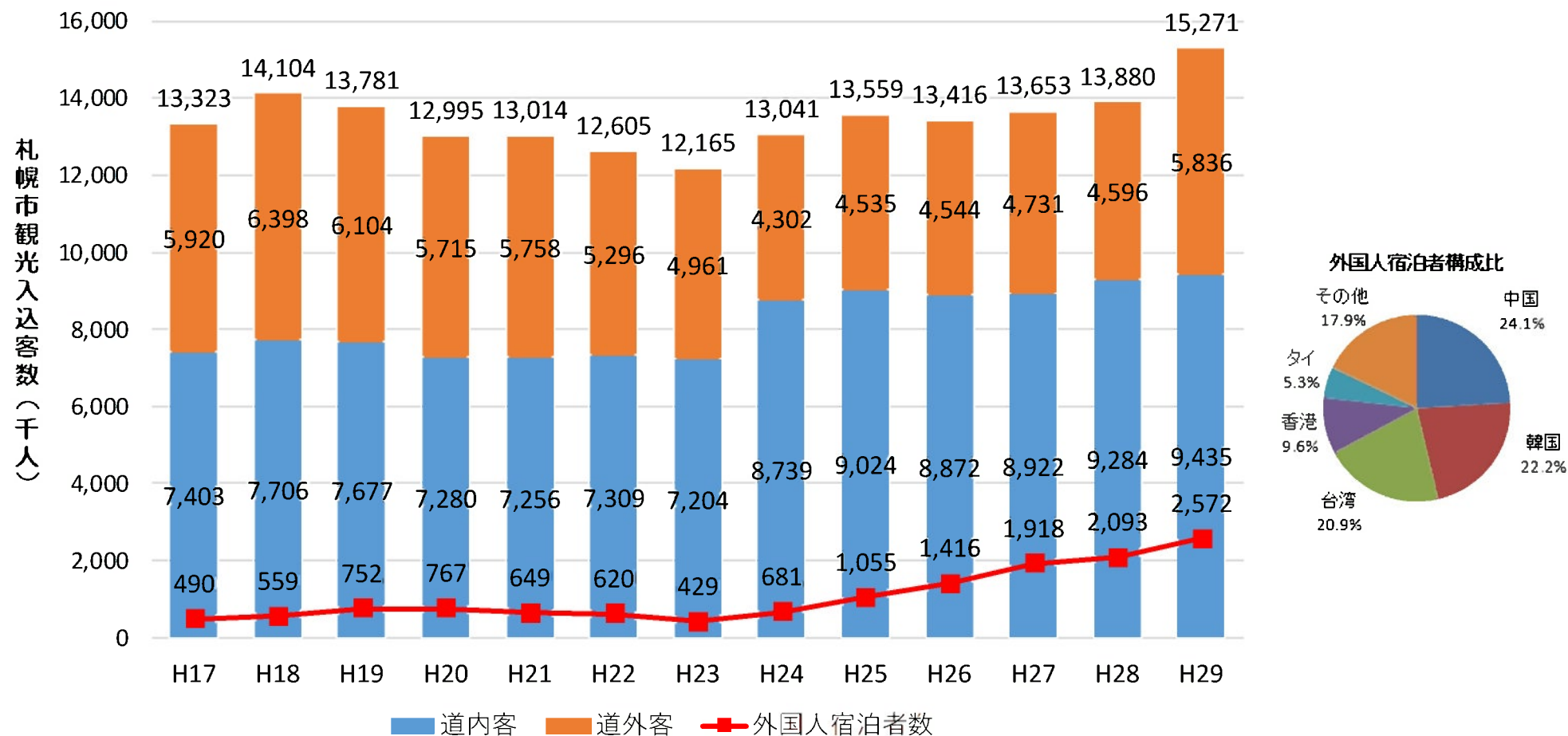


図 札幌市の観光入込客数と外国人宿泊者数の推移 資料：札幌市観光統計データ（H29（2017））

## ■来札経路の構成

- ・ 来札経路としては、乗用車とJRが多く、観光バスについては2014年以降、減少傾向
- ・ 旅行形態が団体旅行から個人旅行へ変化していることなどが要因として考えられる

(単位：千人)

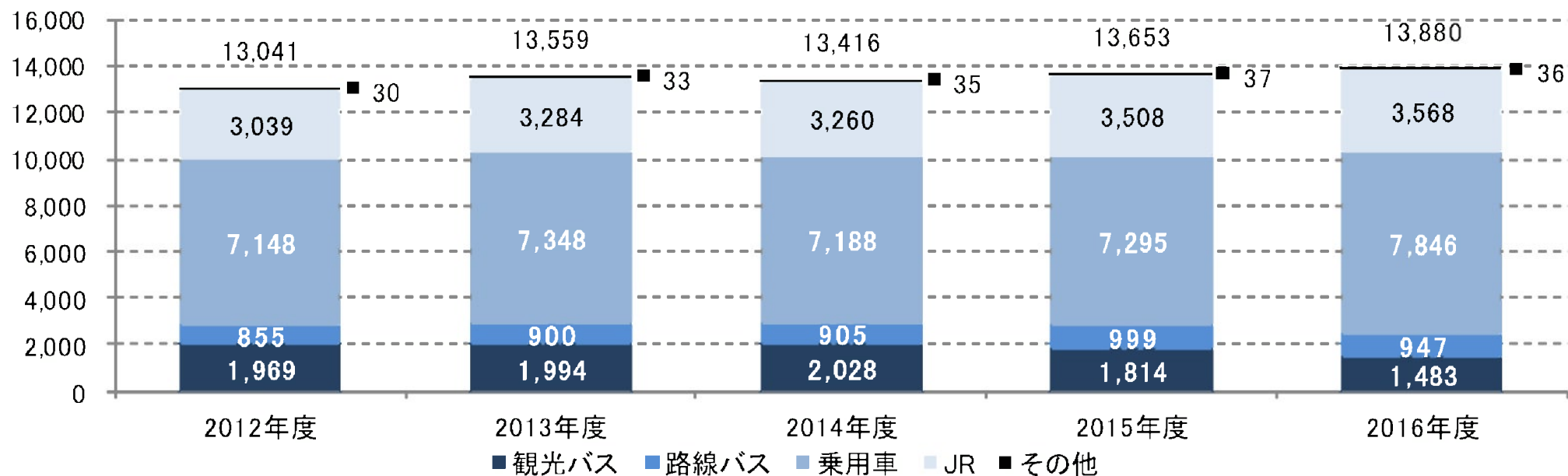


図 来札経路の構成

## ■来札観光客の滞在中の交通手段

- ・近年、道外在住者・外国人観光客ともに、貸切バスが減少傾向であり、タクシー・路線バス・JR等の公共交通が増加傾向

(単位：%)

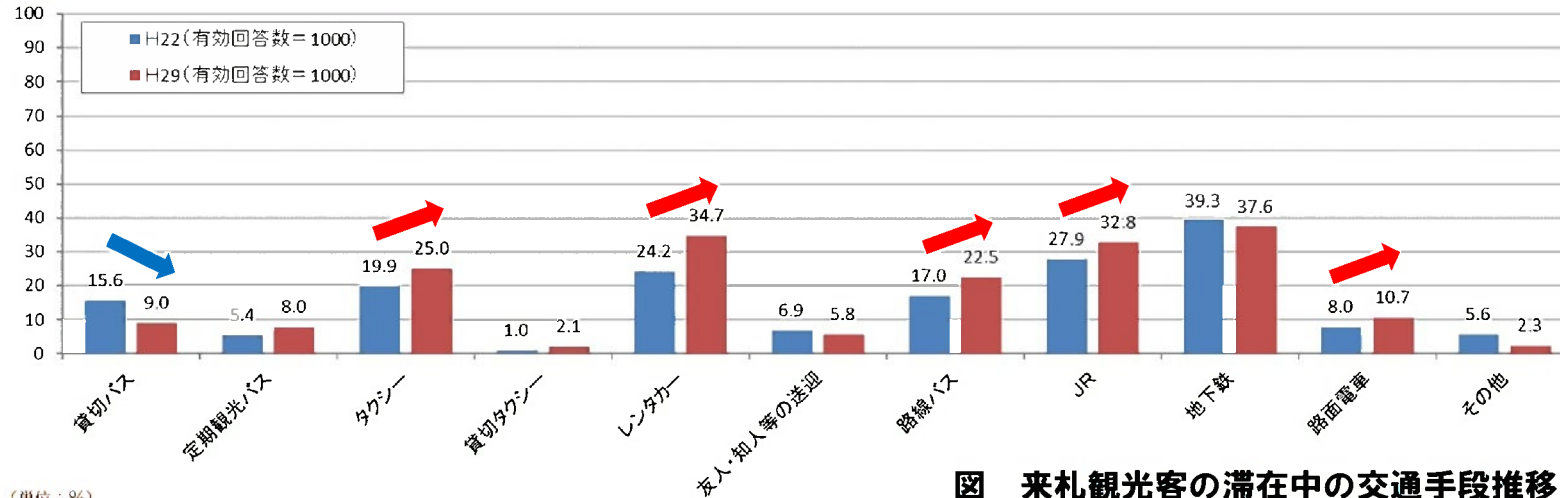


図 来札観光客の滞在中の交通手段推移 (道外在住者※1)

(単位：%)

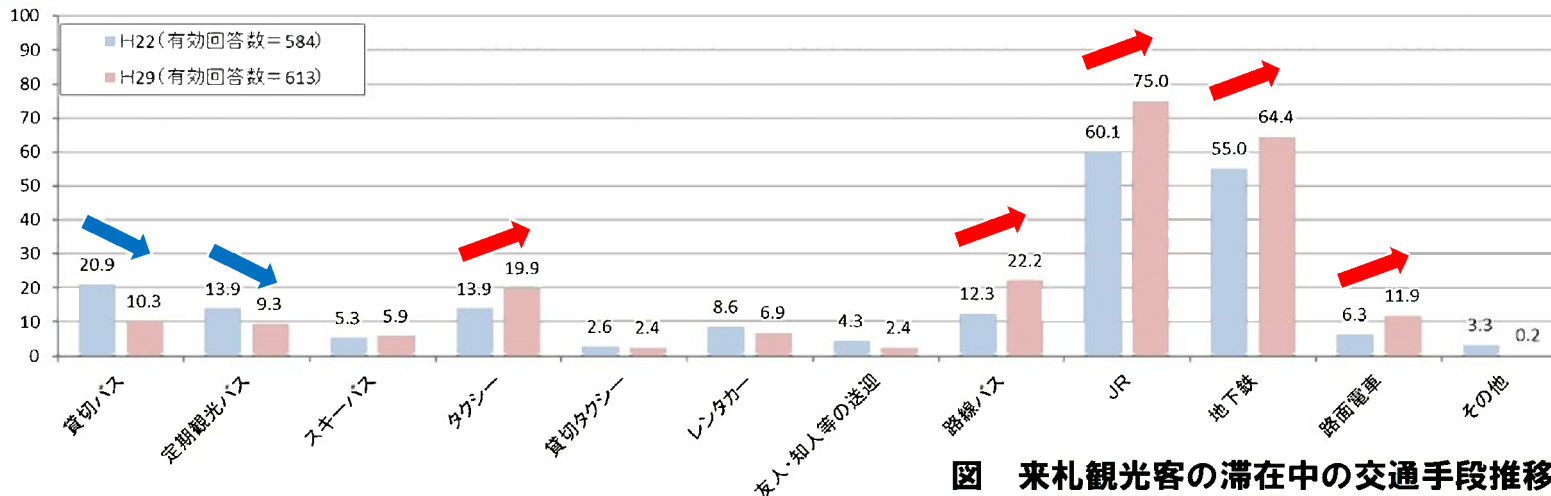


図 来札観光客の滞在中の交通手段推移 (外国人観光客※2)

資料：来札観光客満足度調査報告書 (H30 (2018)、H23 (2011))、外国人個人観光客動態調査 (H30 (2018)、H23 (2011))

※1 過去1年以内に札幌を訪れた18歳以上の道外在住者 (H30調査)、過去3年以内に札幌を訪れた18歳以上の道外在住者 (H23調査)

※2 雪まつりを訪れた18歳以上の外国人観光客

## ■新千歳空港旅客数の推移

- ・ 新千歳空港旅客数は近年増加しており、国際線の伸びが大きい
- ・ 平成27年10月の深夜早朝時間帯(22時～翌7時)の発着枠拡大や平成29年3月の日中時間帯の発着枠拡大(32回/時→42回/時)などにより、国際線直行便や格安航空会社(LCC)が相次ぎ就航

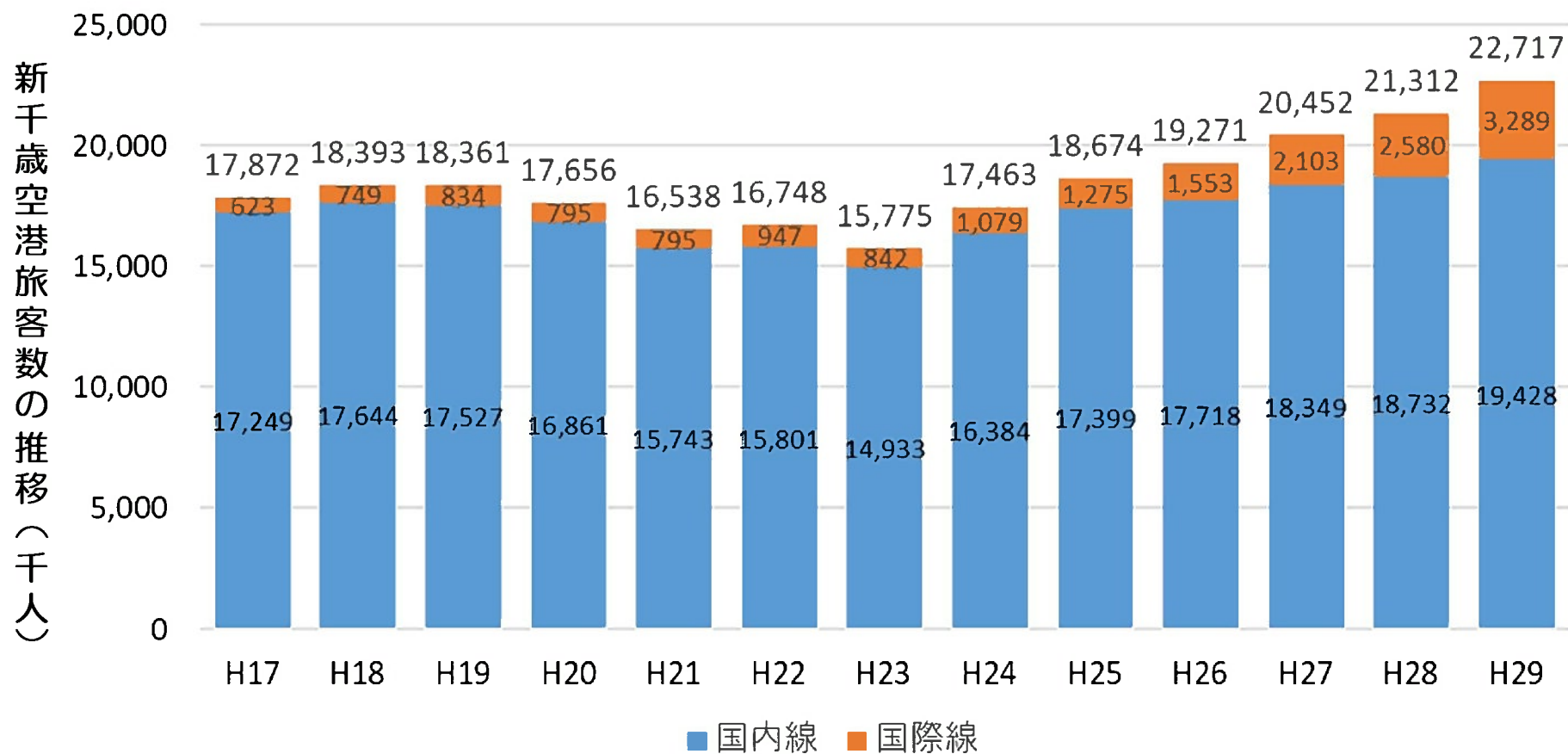


図 新千歳空港旅客数の推移

資料：千歳市HP (H29 (2017) )

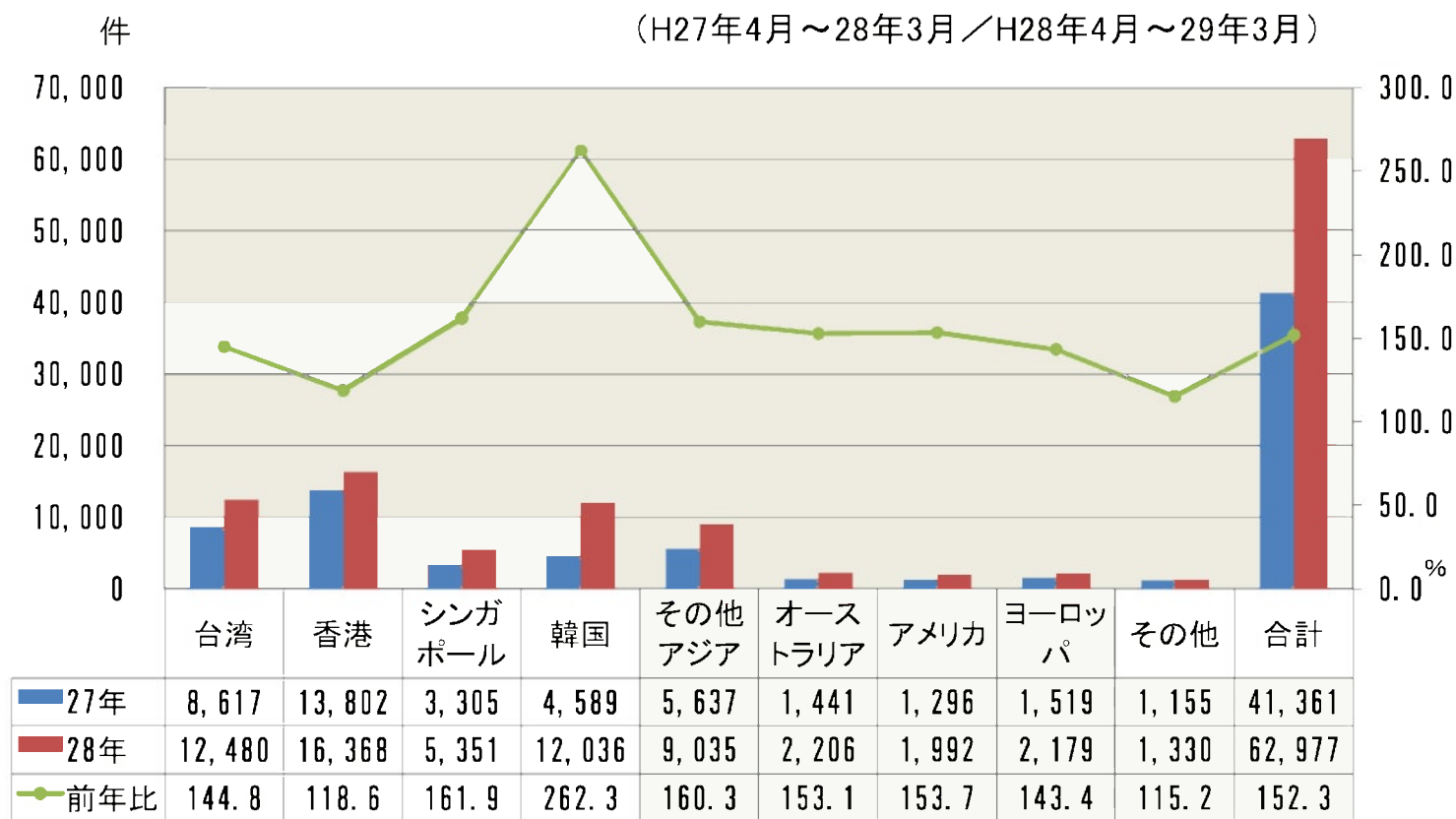
## ■外国人のレンタカーの利用状況

・北海道地区の外国人へのレンタカーの件数はH27とH28を比較すると、前年比152%と伸びている。特に、韓国では262%と大きく伸びている。



## 外国人のレンタカー利用の状況

北海道地区の外国人へのレンタカー貸渡件数の推移





## ■観光施設入り込み客数

- ・ 札幌市は北海道観光ルートの要となっており、都市型や郊外型の観光施設に多数の観光客が訪れている
- ・ 都心部では北海道庁旧本庁舎をはじめ多数の観光施設が集中しており、郊外でも藻岩山や白い恋人パーク、モエレ沼公園等の主要な観光施設が点在している



※30万人/年以上を旗揚げ

図 札幌市内の施設別観光入込数

(単位：人)

施設名	平成29年度
藻岩山	905,995
円山動物園	813,045
モエレ沼公園	805,057
白い恋人パーク	748,615
北海道庁旧本庁舎	689,580
サッポロさとらんど	681,850
滝野すずらん丘陵公園	571,023
北海道立近代美術館	453,218
大倉山ジャンプ競技場	446,987
札幌芸術の森	433,044

表 主な観光施設利用者数

※上位10施設

資料：札幌の観光（札幌市）（H30（2018））

## ■ 主な観光施設までの交通アクセス

施設名	最寄駅からのアクセス	都心部からのアクセス
藻岩山 (ロープウェイ山麓駅)	[バス] 円山公園駅から15分(1~2便/時) [シャトルバス] ロープウェイ入口電停から5分(4便/時) [徒歩] ロープウェイ入口電停から8分	—
円山動物園	[徒歩] 円山公園駅から15分 [バス] 円山公園駅から7分(2~3便/時)	—
モエレ沼公園	[バス] 環状通東駅から25分(2~4便/時)	[バス] バスセンターから35分(1便/時) ※夏期のみ
白い恋人パーク	[徒歩] 宮の沢駅から7分	[バス] 札幌駅前バスターミナルから31分(6便/時)、 西町北20丁目バス停で下車徒歩5分
北海道庁旧本庁舎	[徒歩] さっぽろ駅から4分	—
サッポロさとらんど	[バス] 環状通東駅から20分(1~2便/時) [バス] 北34条駅から20分(1~2便/時) [バス] 新道東駅から15分(1~2便/時) ※丘珠高校前バス停で下車、徒歩10分	[バス] バスセンターから35分(1便/時) ※夏期のみ
滝野すずらん丘陵公園	[バス] 真駒内駅から32分(1便/時)	※札幌ターミナル発着の路線バスはH29年度に廃止
北海道立近代美術館	[徒歩] 西18丁目駅から5分	[バス] 札幌駅前バスターミナルから10分(11~12便/時)、 道立近代美術館前バス停で下車徒歩1分
大倉山ジャンプ競技場	[バス] 円山公園駅から10分(2~3便/時)	—
札幌芸術の森	[バス] 真駒内駅から15分(4便/時)	※札幌ターミナル発着の路線バスはH29年度に廃止



## ■さっぽろスマイルバス

- ・国内外から訪れる観光客に、快適に市内の広い範囲の観光を楽しんでもらうための「市内周遊バス」実証実験
- ・市内6箇所の停留所から自由に乗降でき、乗車券を提示すると提携先の施設で特典の利用が可能

**Sapporo Smile Bus**  
札幌市市内周遊バス運行実証事業

**サービス**  
グッズショップで1,000円以上お買い上げの方は5%割引あり!

**無料サービス**  
●レンタサイクル(1時間)  
●SLバス(1回)

**無料サービス**  
札幌市1日周遊券をお持込みの方にオリジナルアイスクリームを1人1つサービス

**運行ルート・停留所**

- ホテルマイステイズプレミア札幌パーク
- 札幌ビューホテル大通公園
- 京王プラザホテル札幌
- モエレ沼公園
- サッポロさとらんど
- サッポロビール博物館 サッポロビール園

**道央自動車道**

**料金 (一人)**

1日乗車券 大人 **900円** 小学生以下 **450円** (3歳未満は入場料)

※1日乗り降り自由

さっぽろスマイルバス時刻表

停留所	時間				
	1便	2便	3便	4便	5便
① ホテルマイステイズ プレミア札幌パーク	9:00	10:30	12:45	14:30	16:30
② 札幌ビューホテル 大通公園	9:15	10:45	13:00	14:45	16:45
③ 京王プラザホテル札幌	9:25	10:55	13:10	14:55	16:55
④ モエレ沼公園	10:00	11:30	13:45	15:30	17:30
⑤ サッポロさとらんど	10:15	11:45	14:00	15:45	17:45
⑥ サッポロビール博物館 サッポロビール園	10:40	12:10	14:25	16:10	18:10
③ 京王プラザホテル札幌	10:55	12:25	14:40	16:25	18:25
② 札幌ビューホテル 大通公園	11:05	12:35	14:50	16:35	18:35
① ホテルマイステイズ プレミア札幌パーク	11:15	12:45	15:00	16:45	18:45





## ■札幌おもてなし委員会

- ・ 観光客の満足度を向上させ札幌ファンを増やすため、札幌のまち全体のおもてなしのレベルアップを目指して設立（事務局：札幌商工会議所）
- ・ インバウンド受入体制強化支援（多言語メニューの作成支援）など様々な活動を実施

### 【札幌大通MAPの作成】

大通エリアの6つの商店街が海外からの観光客向けに合同で作成したおもてなしMAP (英語・中国語)

飲食・買い物の情報が主であるが、イラストを交えて都心部内の公共交通（地下鉄・路面電車・タクシー）の情報も伝えている



## ■観光貸切バス停車のエリアマネジメント実証実験

- ・ 既存商業施設「ノルベサ」前の道路空間に観光貸切バス専用の乗降所を設置し、乗客降車後の観光バスを貸切バス待機場へ案内することで、都心部の観光貸切バスの路上駐車解消を図った
- ・ 「ノルベサ」内にバス待合所を設置し、観光貸切バスのバス待ち空間を創出するとともに、公共交通への案内や周辺観光スポット情報を発信

【実証実験のイメージ】

### 実証実験前

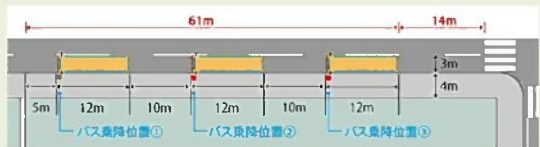


### 実証実験（対策イメージ）



### ①乗降所の設置とルール化

・ 様々な地点で観光貸切バスの路上駐停車が見られる札幌都心部において、専用のバス乗降所を設置するとともに、乗客降車後の観光貸切バス待機場への案内も行い、乗降所利用のルール化を図ります。



### ②バス待ち空間の創出

・ 観光貸切バスの乗客のバス待ち空間として既存商業施設を活用します。

・ バス待ち空間には多言語（英・中・韓）対応のデジタルサイネージを設置し、公共交通への案内や周辺人気スポット案内情報を発信します。



▲既存商業施設を活用するバス待ち空間のイメージ



乗降所の設置とルール化

バス待ち空間の創出

・ 都心部の観光貸切バスの路上駐車減少による交通混雑の解消

・ 観光貸切バスの乗客が利用しやすい環境を構築

・ 持続可能な観光貸切バス  
マネジメントの実装

### ■観光客向け交通情報一元化提供サービス

- ・札幌商工会議所では、観光客の利便性向上を目的に、交通情報一元化提供サービスとして、空港・JR・地下鉄・路面電車・高速道路などの札幌市の交通機関の運行情報を一括してウェブサイトに掲載
- ・日本語のほか、外国人観光客向けに英語、中国語、韓国語で表示





# (4) 最近の取組事例

## ■ さつチカ

- 札幌市都心地下のまち歩きに便利な、地下鉄時刻表や施設案内、イベントなどの情報を集約しスマートフォンアプリで提供すること

## 日本初のエリマネアプリ『さつチカ』

Sapporo Underground Information App



都心を快適便利に  
過ごすための  
機能ラインナップ

今すぐダウンロード！



Facility Information  
(施設案内) <地下>

地下の現在地から  
最寄りのエレベーター  
やトイレを案内！



tap!



Facility Information  
(施設案内) <地上>

タップ一つで  
素早く地上の地図に  
切替表示！

Subway Timetable  
(地下鉄時刻表)

地下の現在地から  
歩いて間に合う  
地下鉄の時刻を案内！



Disaster management  
information (防災情報)

チカホの災害情報を  
4カ国語(日・英・中  
・韓)で配信！



## ■ 特徴 (交通系機能)

### ○ビーコンの位置情報を活用

GPSの電波が届きにくい地下空間で、地図による施設案内や地下鉄時刻案内が可能(都心地下に約270個のビーコンを設置)

### ○様々な交通情報と連携可能(※)

地上の地図で都心の市電停留所を表示

↓  
リンク連携により、市電Naviの運行情報にJump!



※現在、新千歳空港の運行情報と連携を検討中

資料：札幌市

## ■大通情報ステーション

- ・「大通情報ステーション」に、新千歳空港を出発する航空機の運航情報表示モニターを設置（平成30年12月15日から運用開始）

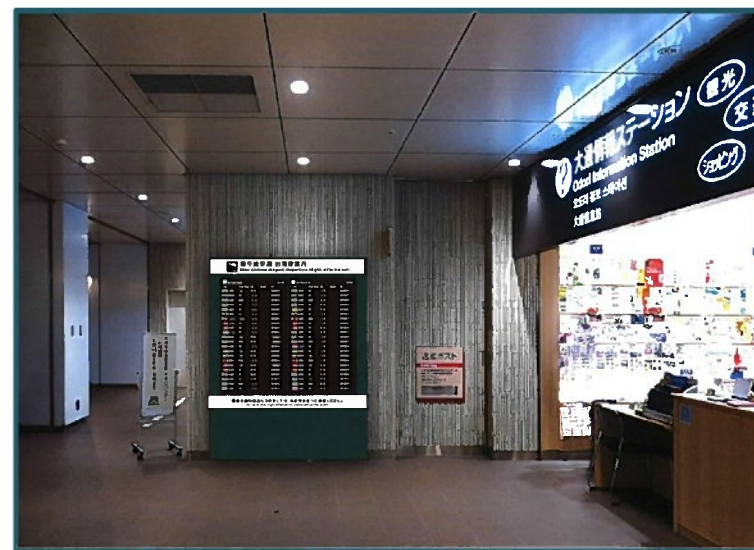
### 【概要】

大通情報ステーションにおいて、通年運航情報の発信を行い、特に冬期における降雪等の影響で航空機の欠航や遅延が生じた場合に、**航空旅客等に対する最新の運航情報を発信**し、情報提供の充実を図る。

- 新千歳空港における**国内線・国際線**の出発便を日・英・韓・中（繁・簡）の**4か国語5言語**で表示
- 情報提供（稼働）時間  
5:45～24:30

### ＜大通情報ステーション＞

- ・地下鉄南北線大通駅コンコース横(出口5横)
- ・文化芸術、観光に関する情報に加え、市内の交通、ショッピング、イベント情報を提供する施設
- ・平日・土 10時00分～20時00分  
日・祝 10時00分～19時00分
- ・英語/中国語に対応可能なスタッフが2名常駐





## ■交通の魅力

- ・ 交通機能以外にも観光資源としての魅力を有する施設等の例

【創成橋】



【北3条広場】



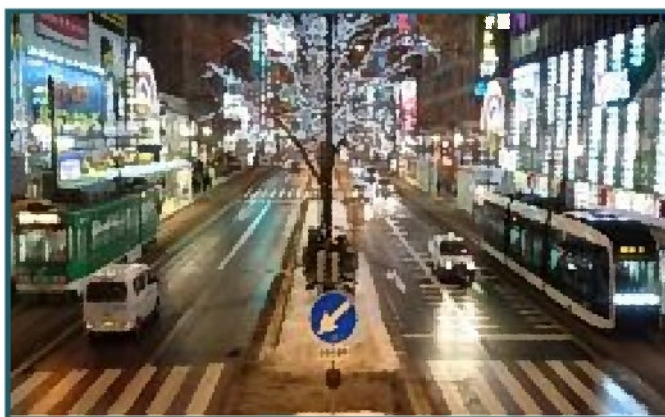
【南北線のゴムタイヤとシェルター】



【500m美術館】



【サイドリザベーション方式】



【土木施設見学ツアー】

**夏休み親子土木施設見学ツアー 2018**  
自由研究に  
ぴったり!

申込期間: 6月26日(火)から7月17日(火) ※申込方法はこちら

◆土木工事現場などを巡るバスツアーだよ! どちらか1つの日目に親子で参加してね!

**7月27日(金) もしくは 7月28日(土)** ※どちらも見学対象は同じです。

【時間】 9:00-15:30頃 【対象者】 札幌近郊の小学生(1-6年生)とその保護者  
【定員】 各日40人

見学場所

- ◆大口径! 水道管工事  
この水源地トンネルがすごい!!!
- ◆水トンネル工事 (水源地トンネル工事の1)
- ◆ランディングバーン改修工事 (大倉山ジャンプ競技場改修工事)

巨大トンネル7線現場の  
タイヤ7つの魅力を紹介します!!

## 2. 環境に関する視点

(1) これまでの意見と検討の視点

(2) 第2次札幌市環境基本計画

(3) 国連「持続可能な開発目標 (SDGs)」

(4) 環境に関するデータ

(5) 最近の取組事例



## ■ 現交通戦略の効果検証より

- 次世代自動車の普及や交通円滑化など、環境負荷を低減させる取組を積極的に推進
- 今後の低炭素社会の実現に向け、公共交通の利用促進を図るなどの市民意識の醸成

## ■ これまでの委員会での意見より

- 環境にこだわらず、公共交通利用促進を訴える工夫が必要
- SDGsを取り入れることで、持続可能性を深く説明でき重要である
- 環境は、いつ何をするとといった表現が必要

## ■ 市民ワークショップでの意見より

- 自転車、徒歩は環境に優しく健康にもよい
- 健康のためにも、バス停や地下鉄駅まで歩き、積極的に公共交通機関を使う
- 移動手段の変更による環境負荷の低減、階段利用によるカロリー消費など効果的な情報提供に努める

検討の視点	議論のポイント
○排出ガスの削減	➤ 市民・企業の交通行動において配慮が求められること（公共交通利用、エコドライブ、次世代自動車の選択など）
	➤ 市民・企業の活動として、期待すること（啓発活動・教育の実施など）
	➤ 市民・企業の活動を支えるために、行政・交通事業者が考慮すべきこと（次世代自動車の普及促進、教育の場の提供、効果的な情報発信など）
○SDGsの推進	➤ SDGsの視点を総合交通計画にどのように盛り込むべきか

## ■ 目指す将来像と5つの柱

- ・「札幌市まちづくり戦略ビジョン」で定める都市像や、札幌市環境基本条例、国・北海道における札幌の責務や役割等を踏まえ、2050年頃の札幌の環境の将来像、その実現に向けた2030年の姿と施策の方向（5つの柱）を設定

### 【2050年に向けた札幌の環境の将来像】

#### 次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる持続可能な都市 「環境首都・SAPPORO」

- 市民一人ひとりが積雪寒冷地における生活のあり方を工夫し、改善し続けることで、将来にわたって自然の恵みを守り、札幌らしい豊かな暮らしの文化が根付いている都市
- 産学官民が協力して、地球温暖化対策や生物多様性の保全、持続可能な資源循環など、国や地球規模での環境問題の解決に率先して取り組み、国内外にその取組と魅力を発信している都市
- 北海道の豊富な自然エネルギーや資源を活用することで、エネルギーや製品の地産地消が進み、環境関連産業が発展した北海道内の経済的循環の中心となることが実現している都市

目指す将来像（長期的な目標）

次世代の子どもたちが笑顔で暮らせる  
持続可能な都市「環境首都・SAPPORO」

札幌市環境基本条例 第7条  
(施策の策定等に係る基本方針)

基本方針を踏まえて、  
施策の方向を「5つの柱」に区分して設定

①健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現

②積雪寒冷地に  
適した  
低炭素社会の実現

③資源を持続可能に  
活用する  
循環型社会の実現

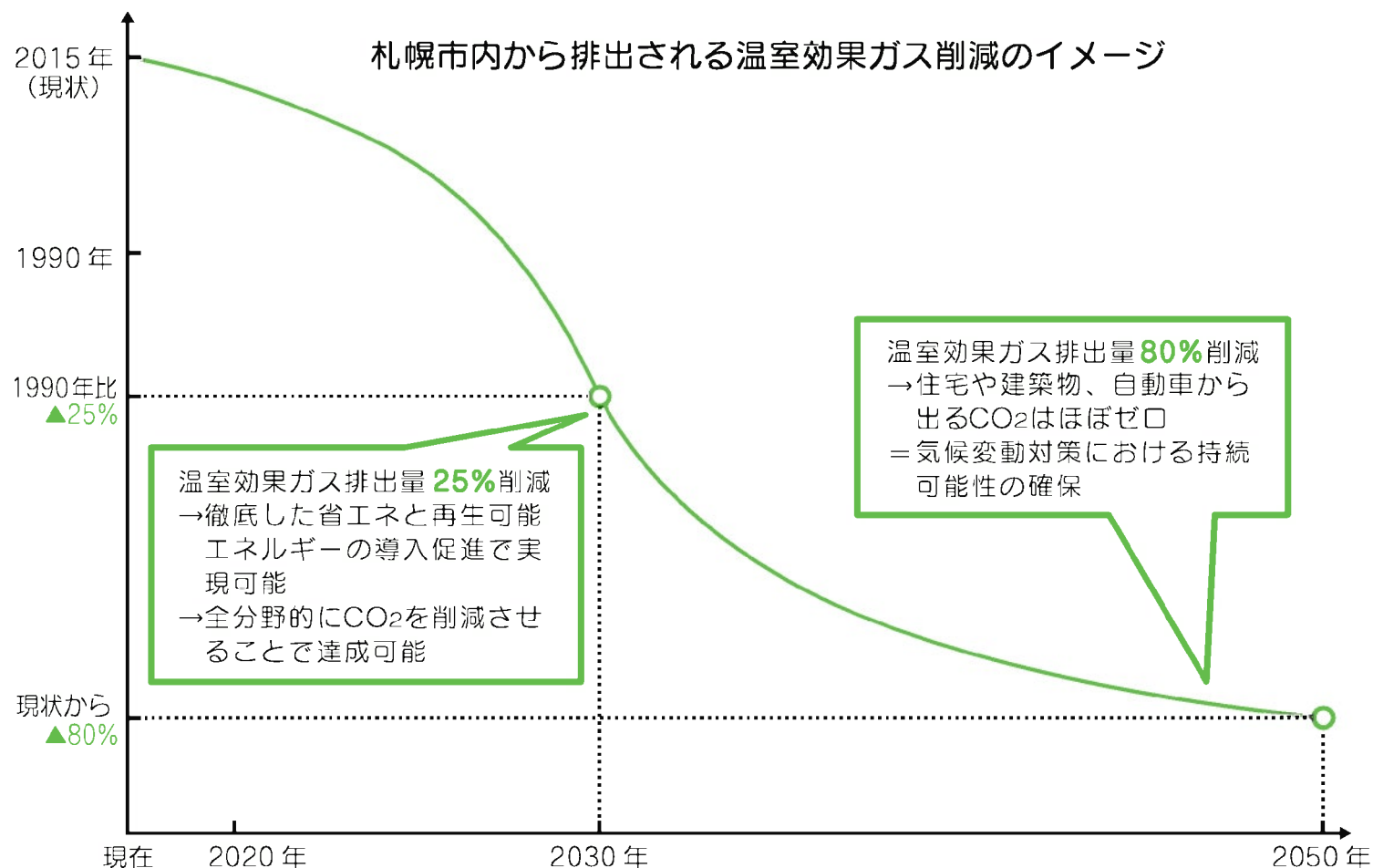
④都市と自然が  
調和した  
自然共生社会の実現

⑤環境施策の横断的・総合的な取組の推進

各柱で目指す「2030年の姿」に  
SDGsの考え方を活用

### ■ 2050年の将来像の実現に向けた2030年の姿の考え方

- ・ 「5つの柱」で設定する2030年の姿は、2050年の将来像の実現に向けて、どの程度の対策が必要なのか、その時にどのような姿であるべきか、といった観点で設定
- ・ 札幌市温暖化対策推進計画（2015.3）では、温室効果ガス排出量に関して、2050年の将来像で設定した「現状より80%削減」を実現するため、2030年に1990年比で25%削減という目標を設定



### ■ 5つの柱（施策の方向性）

- ・ 目指すべき将来像の実現に向けた施策の方向を「5つの柱」として設定

※交通に関連する取組を抜粋

#### 『健康で安全な環境の中で生活できる都市の実現』

##### 施策の方向

- ・ 有害化学物質等の排出規制やアスベストの飛散防止対策、**自動車騒音の低減や排出ガス抑制**のための次世代自動車の普及促進など、発生源対策を推進します

#### 『積雪寒冷地に適した低炭素社会の実現』

##### 施策の方向

- ・ 電気自動車やハイブリット自動車など**次世代自動車の導入**や**エコドライブの普及**、**公共交通機関等の利用促進**など、自動車環境対策を推進します。
- ・ 自家用車に頼らず生活できるコンパクトで低炭素なまちづくりを推進します。

#### 『環境施策の横断的・総合的な取組の推進』

##### 施策の方向

- ・ 将来を担う人材の育成につながるよう、学校等で行われる**環境教育活動**の支援を充実していきます。
- ・ 地域や商業施設、環境教育関連施設などで、あるいは企業のCSR活動として実施される環境教育・学習活動などの支援を充実していきます。



### ■ 地球を守るためのプロジェクト・札幌行動

- ・市民が行動する際の配慮の指針を「地球を守るためのプロジェクト・札幌行動～市民行動編」として見直すとともに、次世代を担う子どもたちも率先して環境保全行動に取り組めるよう、新たに「さっぽろエコ子ども14の誓い」も配慮の指針に位置付け

#### <市民行動編（さっぽろエコ市民26の誓い）>

※交通に関連する取組を抜粋

### 5章 都市環境

- ⑰ 徒歩や自転車の積極的な利用により、自動車の使用をできるだけ控えます。
- ⑱ 市民の共有財産である公共交通を支えていくという意識を持ち、積極的に利用することで更に充実させていきます。
- ⑲ 自動車を運転する場合は、アイドリングストップなどのエコドライブを実践します。
- ⑳ 自動車の購入や買い換えの際には、次世代自動車・低燃費車を選びます。
- ㉑ 家庭や地域で環境保全の大切さについて話し合い、行動します。

#### <子ども行動編（さっぽろエコ子ども14の誓い）>

※交通に関連する取組を抜粋

### 5章 乗り物

- ⑩ 近くの場所には歩いてまたは自転車でいきます。遠くの場所には地下鉄・バス・市電・JRで行きます。
- ⑫ 家庭でごみのこと、自然のこと、環境のためにできることを話します。

## ■ 持続可能な開発のための2030アジェンダ

- ・ 2030アジェンダは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月に国連サミットで採択された、2030年までの国際開発目標
- ・ 「誰一人取り残さない」持続可能な多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までを期限とする17の国際目標



**普遍性** 先進国を含め、全ての国が行動する

**包摂性** 人間の安全保障の理念を反映し、「誰一人取り残さない」

**参画型** 全てのステークホルダー (政府、企業、NGO、有識者等) が役割を

**統合性** 社会・経済・環境は不可分であり、統合的に取り組む

**透明性** モニタリング指標を定め、定期的にフォローアップ

### 前身: ミレニアム開発目標 (Millennium Development Goals: MDGs)

- 2001年に国連で策定。2000年に採択された「国連ミレニアム宣言」と、1990年代の主要な国際会議で採択された国際開発目標を統合したもの。
  - 発展途上国向けの開発目標として、2015年を期限とする8つの目標を設定。  
(① 貧困・飢餓, ② 初等教育, ③ 女性, ④ 乳幼児, ⑤ 妊産婦, ⑥ 疾病, ⑦ 環境, ⑧ 連帯)
- ✓ MDGsは一定の成果を達成。一方で、未達成の課題も残された。  
○ 極度の貧困半減 (目標①) や HIV・マラリア対策 (同⑥) 等を達成。  
× 乳幼児や妊産婦の死亡率削減 (同④, ⑤) は未達成。サブサハラアフリカ等で達成に遅れ。

**環境**  
(リオ+20)

**人権**

**平和**

## ■ 持続可能な開発目標 (SDGs)

・ 持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲットからなる2030年に向けた国連加盟国193カ国共通の目標

## ■ 交通に関する主な目標・ターゲット



図 持続可能な開発目標 (SDGs)

<b>目標3</b>	<b>あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する</b>
3.6	2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる
<b>目標7</b>	<b>すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的なエネルギーへのアクセスを確保する</b>
7.a	2030年までに、再生可能エネルギー、エネルギー効率及び先進的かつ環境負荷の低い化石燃料技術などのクリーンエネルギーの研究及び技術へのアクセスを促進するための国際協力を強化し、エネルギー関連インフラとクリーンエネルギー技術への投資を促進する
<b>目標11</b>	<b>包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する</b>
11.2	2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子供、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、全ての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する
<b>目標17</b>	<b>持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する</b>
17.17	さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する




## ■SDGs 未来都市「札幌市」

- ・ 2018年6月、札幌市は「SDGs 未来都市」として選定
- ・ 札幌市SDGs 未来都市計画 (2018.8) に基づき取組を推進

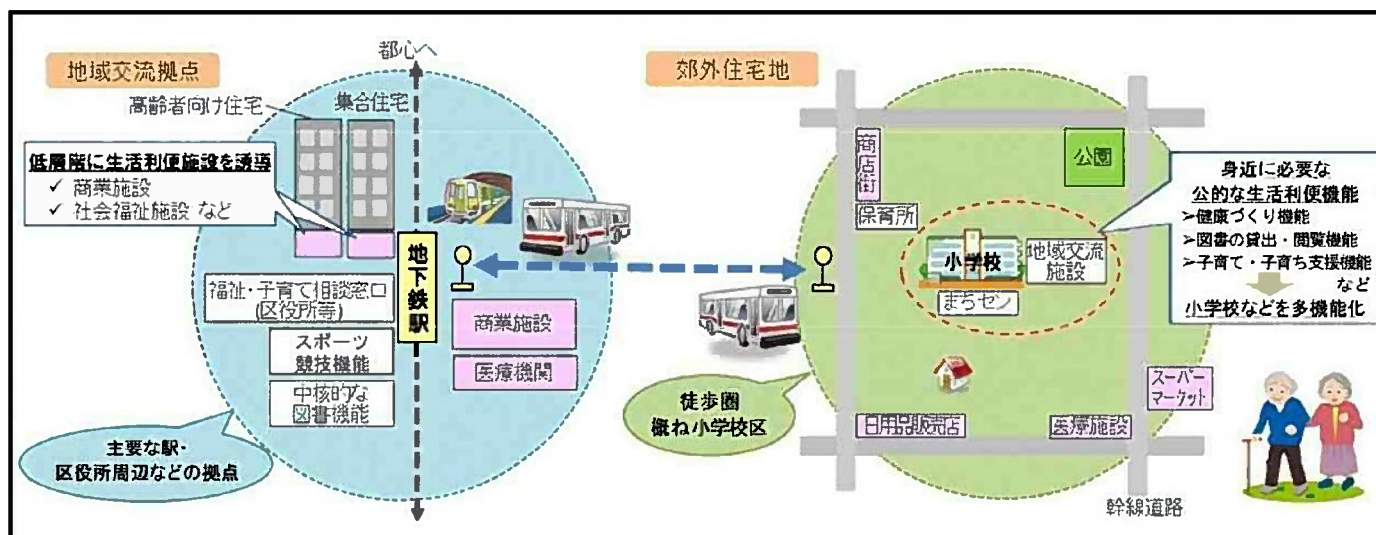
### 【自治体SDGsの推進に資する取組】

#### ④「歩いて暮らせるまちづくり」を通じた、QOL向上に向けた取組

※交通に関連する目標を抜粋

ゴール、ターゲット番号		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 自動車利用の多さはCO<sub>2</sub>排出など環境負荷の増加のみならず、事故や渋滞など、社会課題にも繋がる問題</li> <li>➢ 都市のコンパクト化による自動車を使わずに生活できるまちづくりを進めていくことが重要</li> <li>➢ 自動車に頼らず「歩いて暮らせるまちづくり」を通じた、環境負荷の低減と社会問題の解決、そして市民のQOLの向上を図っていく</li> </ul>	
 <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	 <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>		 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>

札幌市における「歩いて暮らせるまちづくり」のイメージ





## ■市内温室効果ガス排出量の推移

- ・ 札幌市内から排出されるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスは、2012年の1,322万t-CO<sub>2</sub>をピークに近年は減少傾向にあるが、1990年比では約3割の増加となっており、さらなる削減が必要

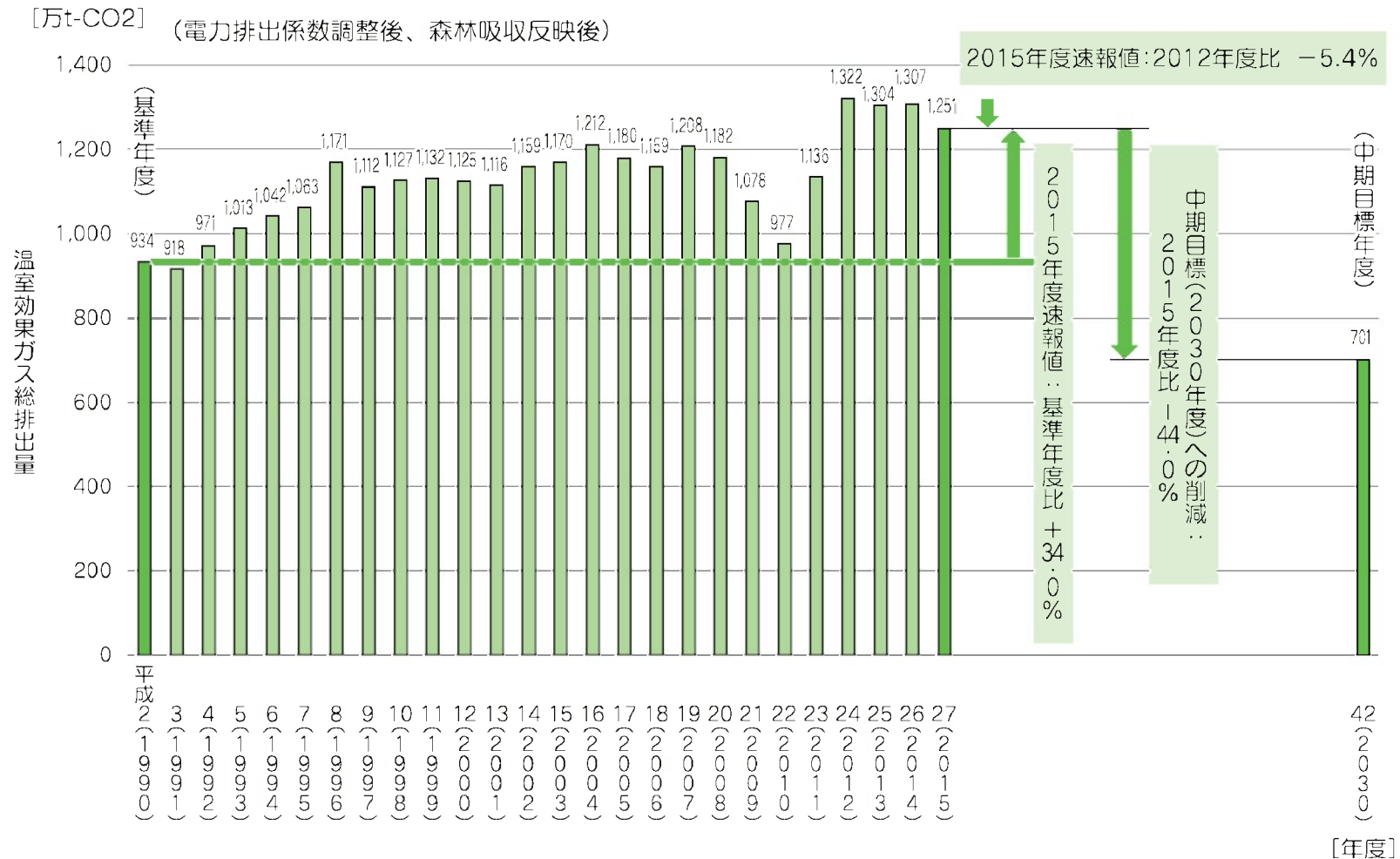


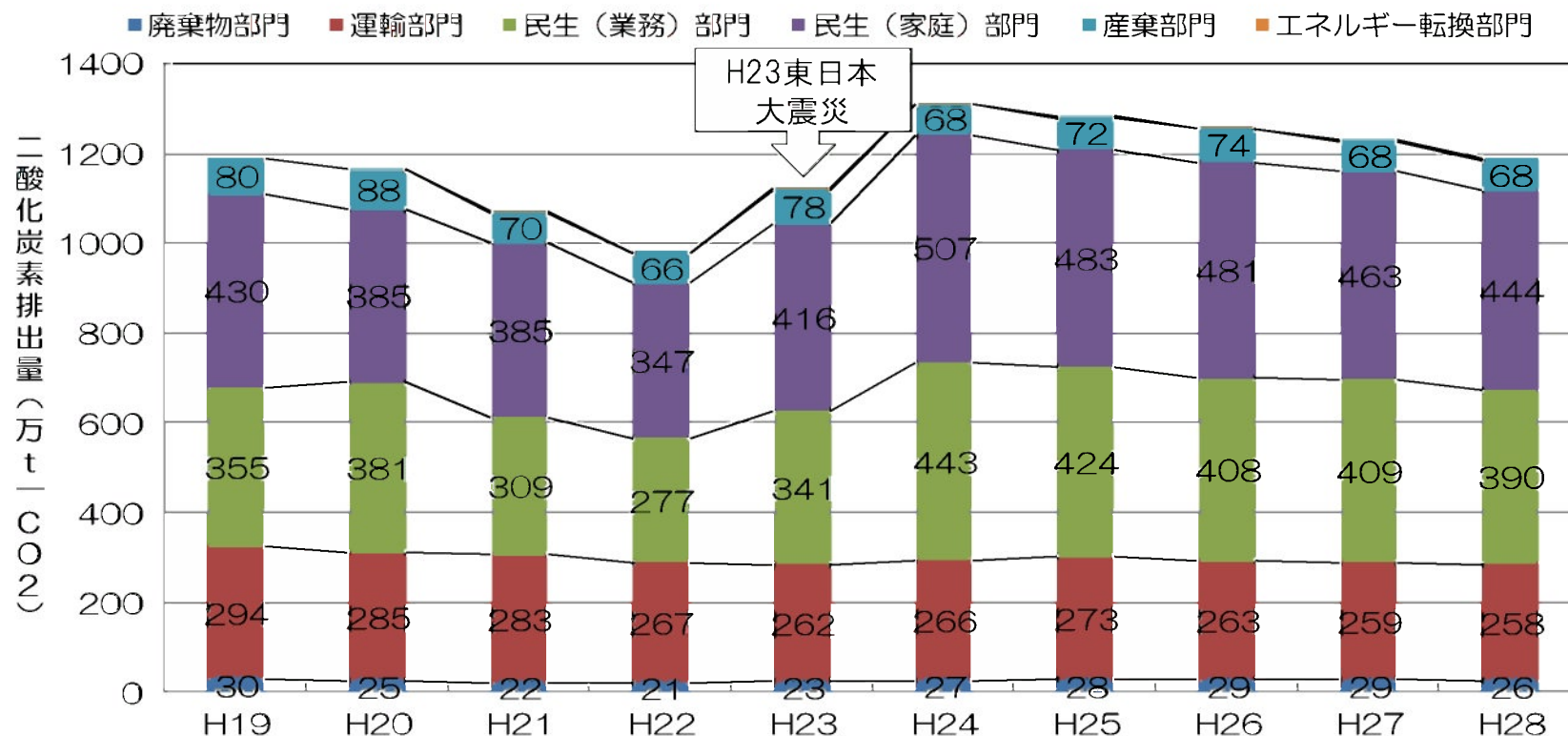
図 市内温室効果ガス排出量の推移

資料: 第2次札幌市環境基本計画

## ■市内CO<sub>2</sub>排出量（部門別排出量）

- ・ 民生部門における排出量は急速に増加し、全体でのCO<sub>2</sub>排出量も増加しているものの、運輸部門（主に自動車）からの二酸化炭素排出量は減少傾向

[市内CO<sub>2</sub>排出量 部門別二酸化炭素排出量の推移]



震災後、原発停止によりCO<sub>2</sub>排出量が増加したが、節電の取組や再生可能エネルギーの活用などにより、近年、全体のCO<sub>2</sub>排出量は減少傾向

## ■自動車保有台数と次世代自動車保有台数

- ・ 札幌市内の自動車保有台数は、7年連続で増加しており、平成29年度は1,036,525台となっており、平成28年度より6,928台増加
- ・ 札幌市内の次世代自動車保有台数は、平成29年度は118,817台となっており、平成28年度より15,451台増加

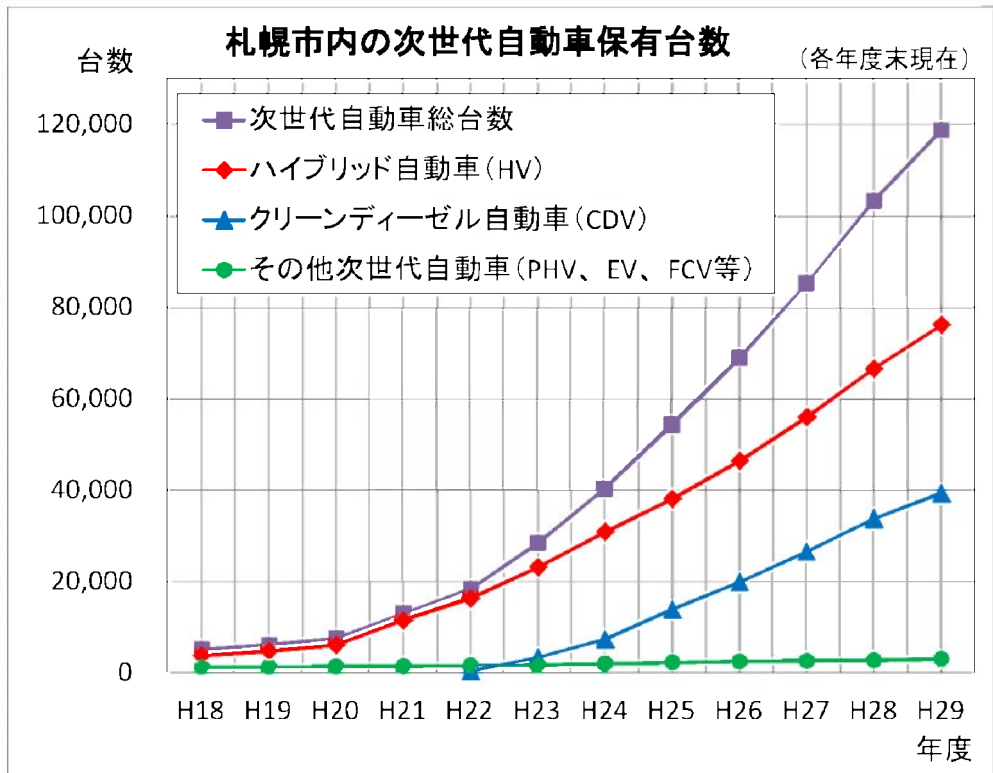
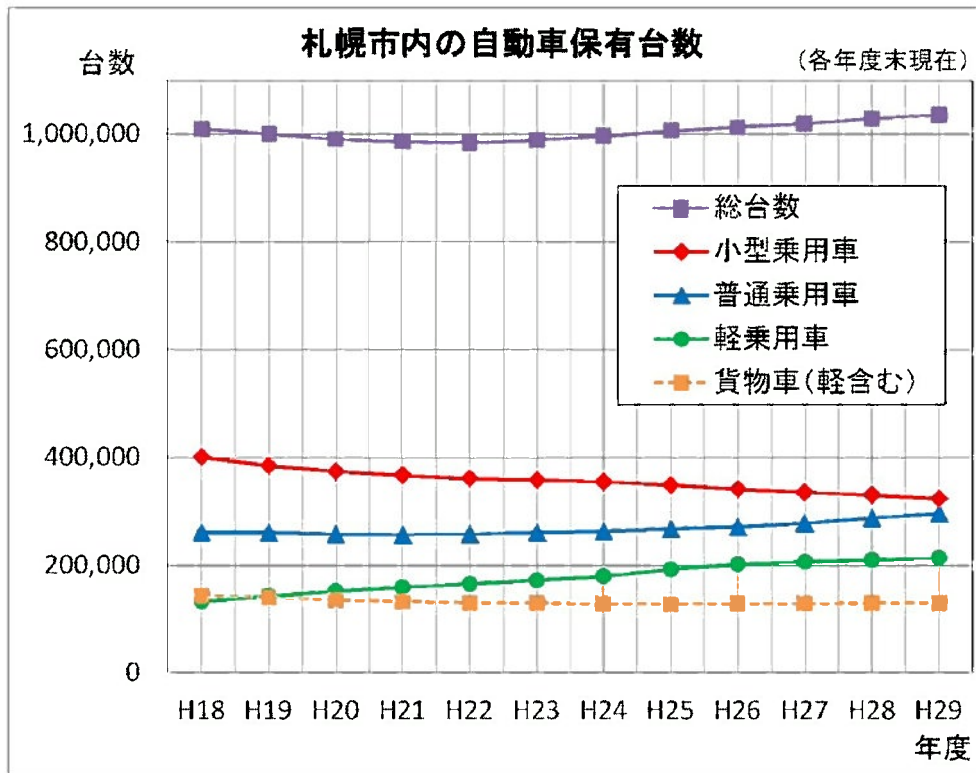


図 札幌市内の自動車保有台数と次世代自動車保有台数

## ■札幌市次世代自動車購入等補助制度

・札幌市では、自動車の購入を予定している方に、旧年式車両から次世代自動車への乗換を促し、自動車により環境負荷を減らすため補助制度を運用

表 対象車種、充電設備等

補助対象	市民	事業者
燃料電池自動車	○	○
電気自動車	○	○
ハイブリッド自動車	—	○ (緑ナンバーのバス、トラックのみ)
天然ガス自動車	—	○ (緑ナンバーのバス、トラックのみ)
V2H 充電設備	○	—

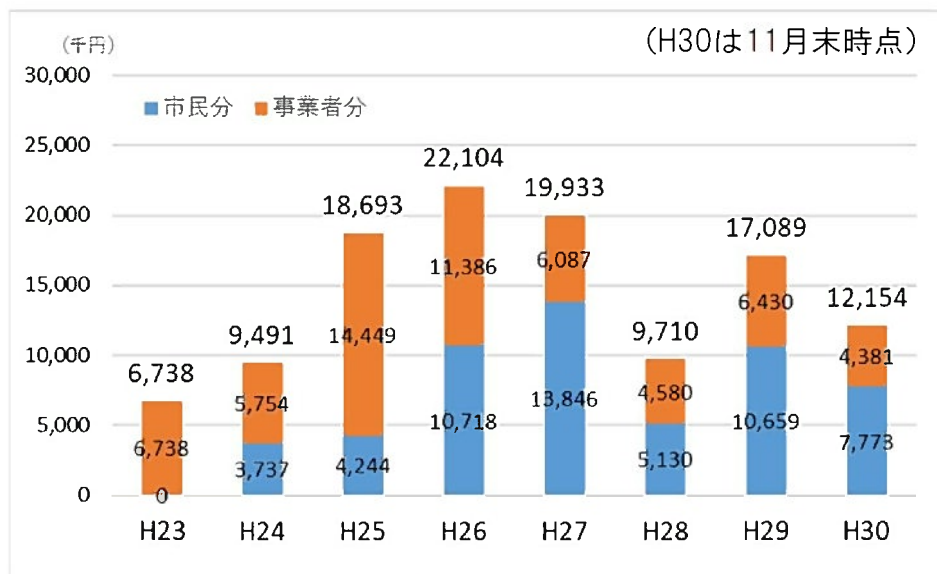


図 補助制度の利用状況

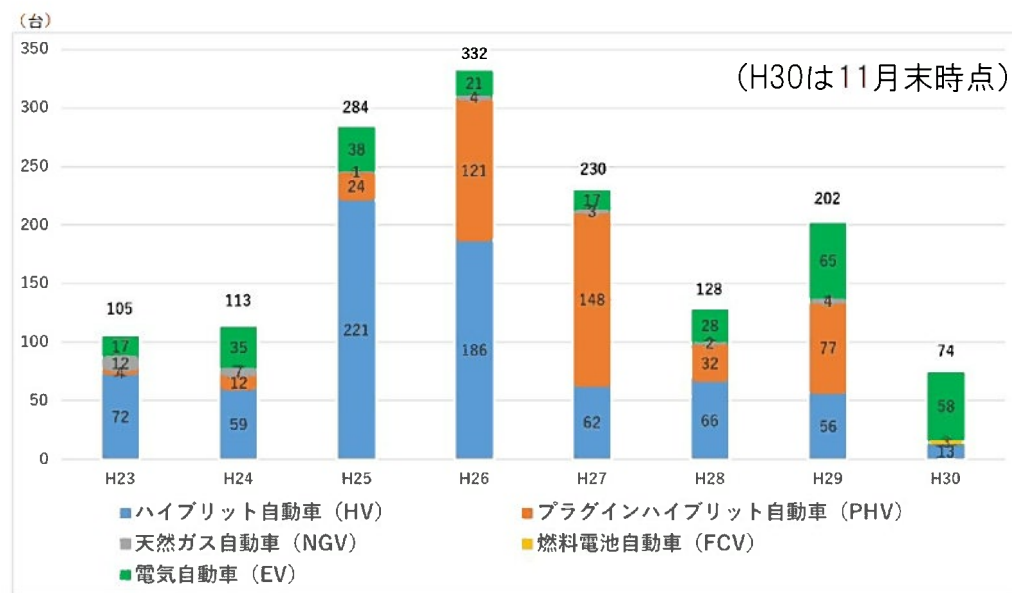


図 補助制度の利用台数



## ■エコドライブの推進

・エコドライブの定着、実施を目指し様々な取組を実施

### 【エコドライブ効果体験会】

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	累計
体験人数	670人	678人	712人	620人	634人	567人	3,881人
CO2削減効果	428t	333t	602t	425t	656t	682t	3,126t



- 運転シミュレーターにより、エコドライブの手法、CO<sub>2</sub>削減効果及び燃費向上効果を体感する講習会
- 市内大型商業施設やイベント会場等で開催

### 【さっぽろエコドライブ大会】

	H25	H26	H27	H28	H29
参加者数	138人	118人	82人	96人	86人
会場	東部水再生プラザ	〃	〃	〃	〃



- 実際に車両を運転し、運転の荒さや速度ムラ、燃費の良さなどによって、エコドライブの技術を競いあう大会
- 次世代自動車の試乗会などのイベントも併催

### 【自動車排出ガス・排気騒音街頭指導】



- 通行車両を呼び止め、車両の整備状況、排気ガス等の確認、改善指導を実施





## ■ 議論のポイント（再掲）

	検討の視点	議論のポイント
観光	○受入サービス・おもてなしの向上	➤ 市民・企業の活動として、期待すること（おもてなしの向上策、交通施設の魅力発信など）
		➤ 情報提供において考慮すべきこと（多言語化の推進、ICT活用など）
	○観光客の滞在・周遊・再訪の促進	➤ 観光スポットへのアクセスにおいて考慮すべきこと（交通結節機能強化、周遊バス、ICT活用など）
		➤ 観光資源としての交通の魅力
環境	○排出ガスの削減	➤ 市民・企業の交通行動において配慮が求められること（公共交通利用、エコドライブ、次世代自動車の選択など）
		➤ 市民・企業の活動として、期待すること（啓発活動・教育の実施など）
	○SDGsの推進	➤ SDGsの視点を総合交通計画にどのように盛り込むべきか